

## 令和7年度 第1回羽島市生涯学習都市推進会議 次第

日 時 令和7年7月8日(火) 10時～  
場 所 羽島市役所3階 301会議室

- 1 委嘱書交付
- 2 会長あいさつ
- 3 意見交換  
羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画に基づく令和7年度の主な  
取り組みについて
- 4 協議  
次期羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画の全体像(案)について

### 【配布資料】

- 資料1 事前質問一覧(当日配布)
  - 資料2 計画要素と今後のスケジュール
  - 資料3 生涯学習都市づくり5カ年計画(令和8年度～令和12年度)の全体像
  - 資料4 現状と課題に対する次期計画の方向性
  - 資料5 生涯学習に関する市民アンケート結果報告書
- 席次表(当日配布)

令和7年度羽島市生涯学習都市推進会議委員名簿

役職名	氏 名	委 員	備 考
会 長	松 井 聡		市長
委 員	大 橋 好 三	1号	老人クラブ連合会代表
	小 森 博 昭	1号	スポーツ推進会議代表
	中 山 ゆりえ	1号	PTA 連合会代表
	堀 登 司 仁	1号	社会教育委員代表
	岩 田 睦 巳	2号	小中学校長会代表
	高 橋 範 行	2号	高等学校代表
	岩 田 明	3号	自治委員会代表
	小 林 美 雪	4号	学識経験者(元小学校長)
	近藤 かよ子	4号	学識経験者(元教育委員)
	益 川 浩 一	4号	学識経験者(岐阜大学教授)
	國 枝 篤 志	5号	副市長
	森 嘉 長	5号	教育長
	三 輪 弘 司	5号	健福祉部長
	熊 崎 房 子	5号	健福祉部子育て・健幸担当部長
	堀 一 男	5号	産業振興部長
	小 川 剛 矢	6号	障がい者支援団体代表
	浅 野 弓 子	6号	公募委員
	田 谷 由 紀 子	6号	公募委員

(順不同・敬称略)

委嘱期間 令和9年3月31日まで

羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画に基づく

## 令和7年度の主な取り組み

- 1. 家庭 … P 3
- 2. 青少年 … P 4
- 3. 地域における学び … P 4.5
- 4. 生涯スポーツ … P 5.6
- 5. 文化 … P 6
- 6. その他支援 … P 7

### 1 家庭

取り組み概要	関係課
<p><b>子育て世代への利用者支援事業</b></p> <p>子育て相談センター羽っぴいでの伴走型相談支援と<b>妊娠、出産</b>での経済的支援をあわせることでニーズに即した支援を実施します。</p> <p>子育てハンドブックの配布等による情報提供や、妊娠届時、出産後等の面談を通して、妊娠・出産・子育て中の切れ目のない支援を行います。</p>	<p>子育て・健幸課</p>

## 2 青少年

取り組み概要	関係課
<p><b>男女共同参画社会の実現</b></p> <p>中学生に対し、リーフレットを活用して男女共同参画の啓発を働きかけています。より多くの人々の理解を促進するため、小学生以下の子どもたちも手に取りやすい家庭用リーフレットの作成を検討しています。</p>	市民協働課
<p><b>教育相談の充実</b></p> <p>適応指導教室の名称をこどもサポートルームに改め、従来からある「のぞみ」、「こだま」に加え、9月より新たに中島中学校内にこどもサポートルーム「あさひ」を開室します。あわせてメタバースを取り入れたRoom-HIKARIで多様な支援体制を整え、不登校や不登校傾向の児童生徒に対し、個に応じた段階的な支援を継続します。</p>	学校教育課
<p><b>体験活動の充実</b></p> <p>市内全9小学校区で実施する放課後子ども教室では、美濃織やお囃子などの伝統文化体験、ボッチャなどの軽スポーツに加え、防災学習など多様な活動を実施する予定です。</p> <p>地域の協力者を得ながら、地域の大人たちと共に活動を体験する機会を設けます。</p>	生涯学習課

## 3 地域における学び

取り組み概要	関係課
<p><b>各種講座の開設・支援</b></p> <p>令和6年度に施行した命と暮らしを守る羽島市民の防災減災条例を踏まえて、自治委員や市防災コーディネーターを対象とした自主防災組織リーダー研修会を実施しました。</p> <p>自助と共助両方の観点から地域の防災力の向上を推進することで、防災意識を高め、災害に備えます。</p>	危機管理課

### 3 地域における学び つづき

取り組み概要	関係課
<p><b>各種講座の開設・支援</b></p> <p>市職員が講師となり市政などについて話す<b>出前講座</b>を実施します。</p> <p>2つの新規メニューや9つの動画化講座を含む全71講座で多様な市民ニーズに応えます。</p>	生涯学習課
<p>公的機関から専門分野の講師を招く<b>はしま学事始</b>を開催し、市民に身近な課題や社会情勢に即した講座(全2回)を行いニーズに沿った学びの場を提供します。</p>	生涯学習課
<p><b>地域人材を活用した学習機会の提供</b></p> <p>学びの循環による地域力の向上を目指した<b>はしまシティカレッジ</b>を開講します。</p> <p>講座のノウハウを学ぶ<b>講師養成講座</b>と養成講座受講後の審査に合格した認定講師による<b>シティカレッジ講座</b>、認定講師対象の<b>フォローアップ講座</b>を行います。</p> <p>また、認定講師の自主的な地域活動を促すため<b>コミュニティセンター</b>など各地域に情報提供を行います。</p>	生涯学習課

### 4 生涯スポーツ

取り組み概要	関係課
<p><b>総合型スポーツクラブ支援事業</b></p> <p>令和6年度に市内全中学校区の運動部活動の地域移行が整いました。</p> <p>市内に3つある総合型地域スポーツクラブの連携強化とさらなるスポーツの振興を図るため、スポーツクラブを統括する<b>一般社団法人スポーツクラブ840</b>が設立されました。適切なクラブの運営ができるよう支援を継続します。</p>	スポーツ推進課

## 4 生涯スポーツ つづき

取り組み概要	関係課
<p><b>各種スポーツイベントの支援</b></p> <p>岐阜県での全国健康福祉祭（ねんりんピック岐阜2025）の開催に伴い、羽島市ではゲートボール交流大会を実施します。スポーツを通してあらゆる世代の人たちが楽しみながら交流することのできる機会を創出します。</p>	スポーツ推進課
<p><b>パラスポーツ推進</b></p> <p>7月には羽島特別支援学校で小・中・高等学部それぞれの児童生徒に向けて、ボッチャ体験を実施します。</p> <p>スポーツ推進委員の協力のもと、障がいの有無に関わらず参加することができるスポーツの推進に取り組み、その普及と理解の促進を図ります。</p>	スポーツ推進課

## 5 文化

取り組み概要	関係課
<p><b>文化・芸術とふれあう機会の提供</b></p> <p>各種展覧会等の開催を通して、地域の文化・芸術を身近に感じる機会を提供します。</p> <p>歴史民俗資料館では、寄贈された資料等を生かした全4回の企画展を開催します。</p> <p>不二竹鼻町屋ギャラリーでは、2回の所蔵品展に加え、羽島市出身の画家である市橋安治に関する企画展、夏休み子ども向けイベントを計画しています。</p>	生涯学習課
<p><b>地域の文化財等の保護・継承</b></p> <p>岐阜県重要有形民俗文化財である<b>竹鼻祭の山車</b>の修繕費用等を補助し、文化財の保護に努めます。</p>	生涯学習課
<p>国土交通省協力のもと<b>イタセンパラ塾</b>を開催します。</p> <p>河川での魚類調査などの学習を通して、イタセンパラへの理解を深め、普及啓発を行います。</p>	生涯学習課

## 6 その他支援

取り組み概要	関係課
<p><b>情報提供の充実と整備</b></p> <p>図書館システムおよび機器の更新を行います。館内のフリーWi-Fiの整備により、利用者用タブレット端末の貸し出しが可能となります。また、マイナンバーカードや交通系ICカードを利用した貸出、オンラインでの利用者仮登録など、機能の充実により、より多くの市民が利用しやすい環境を整えます。</p>	図書館
<p><b>専門機関等との連携</b></p> <p>包括協定を結ぶ愛知文教大学と連携し、留学生と市内小中学生との交流事業を実施します。</p>	市民協働課
<p>はしまシティカレッジでは岐阜大学から講座づくりの専門講師を招き、<b>講師養成講座</b>や<b>フォローアップ講座</b>を実施。大学との連携により地域づくり型生涯学習を進めます。</p>	生涯学習課
<p>放課後子ども教室では、<b>ぎふ地域学校協働活動センター</b>に学生ボランティアの派遣を依頼し、地域の学生と連携して子どもたちの活動を支えています。</p>	生涯学習課
<p><b>等しく安心して学ぶことができるための支援・配慮</b></p> <p>各種団体と連携し講演会や行事における<b>意思疎通支援</b>を行うことで、誰もが等しく学ぶ機会の創出に努めます。</p>	福祉課

# 事前質問一覧

資料1

意見交換 羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画に基づく令和7年度の主な取り組みについて

質問・意見	回答	担当課
<b>分野1 家庭</b> <b>子育て世代への利用者支援</b> 妊娠、出産、子育て中の切れ目のない支援とは、具体的にどのような支援をされているか？	妊娠届出に全ての妊婦と面談を行い、支援を行っております。出産後はこんにちは赤ちゃん訪問や乳幼児健診、乳幼児相談等を実施し、切れ目のない支援を実施しています。	子育て・健幸課
<b>分野1 家庭</b> <b>子育て世代への利用者支援</b> 慣らし保育等、入園前のお子さんが保育園や幼稚園で在園中の園児と触れ合える遊びの場をつくり、集団行動や子ども同士の仲間づくりの環境が出来ると良い。先生の人数にもよるが、例えば月1回など。あわせてお母さん、お父さん同士の新たな仲間づくりの場ともなる。 実際に、家族が4月から入園したばかりだが、体験慣らし保育を入園までに何度か経験し、親と離れた時間を過ごすのにも少しは慣れた。入園時には早く園に慣れ、母親と離れる時もさほど泣く事はなく楽しく幼稚園に行くことができている。	市内保育園・認定こども園では、定期的に園庭開放等を実施しており、子ども同士の様々な交流を行える機会を提供しています。 また、令和8年度からは未就園児を対象にした「こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）」が開始予定であり、こどもにとっては早期の社会情緒的な発達や成長の促進などが、保護者にとっては子育ての孤立感・不安感の解消や情報入手、人とのつながりの広がりなどが期待されているところです。	子育て・健幸課
<b>分野2 青少年</b> <b>教育相談の充実</b> こどもサポートルーム「あさひ」が新たに開室するが、現在の利用人数と不登校の人数は、去年と比べて現状どのようか知りたい。	こどもサポートルーム利用人数 (R7.4/1~7/7:実人数) ・こだま(個人対応)…7人 ・のぞみ(小集団)…9人 不登校の人数(R6年度) 207人(前年度201人:+6人)	学校教育課

協議 次期羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画の全体像(案)について

事前質問なし

計画策定の方針

計画策定の趣旨

現行の「羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画」は、「岐阜県生涯学習振興指針」（平成29年3月）にて県が進める「地域づくり型生涯学習」を推進するため、令和2年度から6年度までの5カ年を計画期間として、令和2年3月に策定した（令和4年5月に、計画期間を令和2年度から7年度までの6カ年に延長）。

同計画が、今年度末で終期を迎えることから、令和8年度からの次期「羽島市生涯学習都市5カ年計画」を策定する。

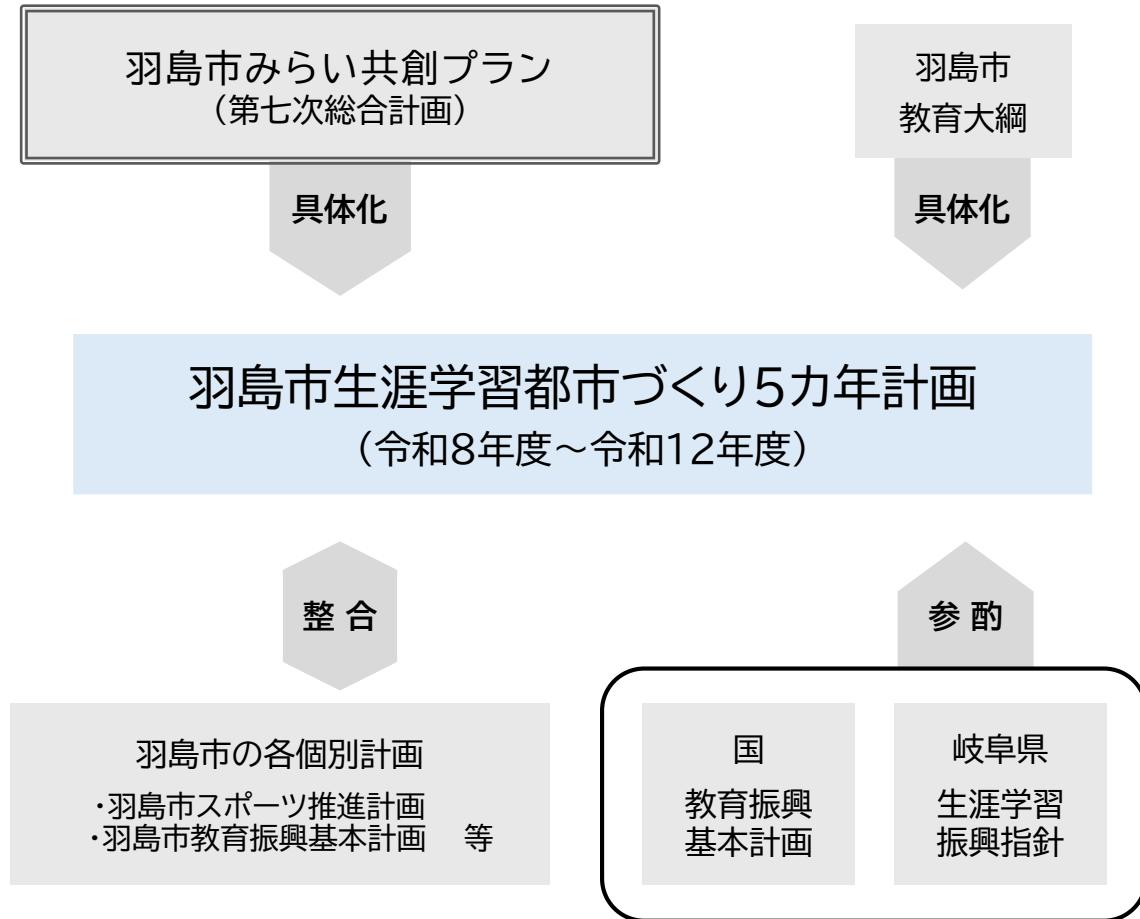
計画の位置づけ

現行計画を継続、発展させるものであり、本市の最上位計画「羽島市第七次総合計画」に基づいた、生涯学習に係る個別計画である。

計画の期間

令和8年度～12年度の5年間とし、計画の見直しが必要になった場合には適宜見直す。

計画位置づけのイメージ



国・県・市の計画等より（抜粋して要約）

文部科学省 教育振興基本計画（R5.6閣議決定）

年齢を問わず学び続け、生涯学習を通じて自らの向上や地域や社会への貢献の意欲を持ち、当事者として地域社会の担い手となる人を尊重する社会が目指されるべきである。

生涯学習を通し地域コミュニティを基盤としてウェルビーイングを実現していく視点も大切である。

岐阜県生涯学習振興指針（R5.3策定）

誰もが自分らしく安心して暮らすことのできる社会の実現のため、必要な時に必要な学びを通じ成長し、充実した人生を送ることができるよう、多様な人々の生涯にわたる学びを支援します。

また、多様な人々が共に学び、地域理解を深め、学びの成果を実際の活動に生かす「地域づくり型生涯学習」の継続的な推進により、学びと活動の循環による豊かな未来の実現を目指します。

個人が生涯学習を通じて身に付けた知識・技術・経験等を、防災・防犯、子育て支援、青少年育成、高齢者福祉、環境美化、伝統文化の継承、まちづくり等の地域課題解決のために役立てていく生涯学習の事を岐阜県では「地域づくり型生涯学習」と呼びます。

羽島市みらい共創プラン(羽島市第七次総合計画)（R7.3策定）

市民一人ひとりが生涯を通じて学び習い、学び直しができる「学習」の環境整備や学びの成果を自ら確かめ、様々な分野に発信する「学修」の仕組みづくりなど、生涯学習社会実現のための取組を進めます。

羽島市教育大綱（R7.3策定）

グローバル化やデジタル化の進展、人口減少社会の到来など、私たちを取り巻く社会環境がめまぐるしく変化する中、幸福感や満足感を持ちながら活力ある地域社会を実現していくためには、「人づくり」が重要なキーワードとなります。

未来の羽島を拓く人づくりに向け、時代の変化を敏感に捉えた柔軟な対応を進めることにより、こどもも大人もともに学び、誰一人取り残されることなく活躍できるまちを目指します。

策定までのスケジュール 令和7年7月～令和8年3月

時期	7月	8～10月	11月	12月・1月	2月	3月
進捗		計画素案作成		パブリックコメント 計画最終案作成		計画策定
推進会議 提示資料	第1回 全体像		第2回 計画素案		第3回 計画最終案	

## 基本理念

## 生涯学習を通じたウェルビーイング<sup>※1</sup>の実現

人生100年時代を迎えたいま、ひとり一人が生涯にわたり学び習うこと、学び修めた知識・経験を地域に分ち伝えることは、日々の暮らしを豊かにし、個人や地域全体の活力と幸福感の向上につながります。

生涯学習社会<sup>※2</sup>を目指し、主体的に学習できる環境の整備や、学習成果を地域社会へ還元・循環できる仕組みの構築が必要です。そうした背景を基に「基本理念」「基本方針」「施策の方向性」からなる本計画を定め、施策・事業を進めていきます。

### 基本方針1

#### 主体的な学びを支える土台づくり

生涯にわたり学びを継続できる環境を整えることにより、学びへの意欲や充実度を高めます。

#### 施策の方向性①

##### ライフステージや社会変化に応じた学びの推進

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1) 学びを支える環境整備    | 2) 多様な学習機会の提供 |
| (1) 生涯学習施設等の整備   | (1) 生涯学習講座の充実 |
| (2) 誰もが学べる環境づくり  | (2) 体験機会の充実   |
| 3) 幅広い世代へ向けた情報発信 |               |
| (1) 多様な媒体による情報発信 |               |
| (2) 社会課題の情報発信    |               |

### 基本方針2

#### 地域を支える学びの仕組みづくり

協働による働きかけや地域づくり型生涯学習の推進により、地域全体の活性化を目指します。

#### 施策の方向性②

##### 学びによる地域の活性化に向けたアプローチ

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1) 生涯学習団体の支援や資源の保護 | 2) 連携、協働による学びや活動機会の充実 |
| (1) 団体の主体的な活動の支援   | (1) 団体とともに創る活動機会      |
| (2) 地域資源の保護        | (2) 国や教育機関との連携による学びの場 |
| 3) 地域人材の活躍支援       |                       |
| (1) 学修成果を発揮する場の創出  |                       |
| (2) 地域人材の育成        |                       |
| (3) 企業ノウハウの活用      |                       |

※1 本理念のウェルビーイングとは、個人や地域全体の活力と幸福感が増した状態を指します。

※2 生涯学習社会とは、様々な場や機会での生涯学習において、いつでも自由に選択し学ぶことができ、成果が適切に評価される社会です。

# 現状と課題に対する次期計画の方向性

市民アンケート結果	アンケート分析	社会課題	課題と今後の方向性 想定される施策の詳細	施策
<p>問 7-3 <u>生涯学習の実施場所</u> 「公的機関の講座」34.4% 「同好者のグループ活動」27.1% 「民間講座」25.0%</p> <p>問 7-4 <u>生涯学習の実施形態</u> 「会場での対面」65.6% 「インターネット」36.5%</p> <p>問 8-1 <u>生涯学習を行っていない理由</u>「時間的余裕がない」41.4%</p>	<p>市等の公的機関が開催する講座は参加のハードルが低く参加しやすいと思われる。</p> <p>時間的制約がないインターネットの活用が広がっており(前回 27.4%⇒今回 36.5%)、学習形態の多様化が進んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化社会</li> <li>・働き方の多様化</li> <li>・デジタル化の進展</li> </ul>	<p>学ぶ場の環境整備と、場所・時間や個々の状況などを問わず学べる(申し込める)柔軟な環境整備が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習施設の整備</li> <li>・誰もが学べる環境づくり</li> </ul>	1) 学びを支える環境整備
<p>問 8-1 <u>生涯学習を行っていない理由</u>「自分の関心や必要にあう学習機会が見つからない」24.8%</p> <p>問 8-2 <u>今後学習したい・関心のある内容</u> 「趣味」46.8% 「健康・スポーツ」32.9% 「家庭生活に役立つ知識・技術」31.1% 「教養」19.4%</p>	<p>幅広い多様なニーズがあると思われる。自己の知識・教養を深める、健康を向上させるなど、自己実現への関心が高い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層、子育て世代の参加率低迷</li> <li>・ニーズの多様性</li> <li>・体験型学習の重視</li> </ul>	<p>ニーズや必要課題に応じた講座の実施、イベントなど体験から知識を得る機会の充実が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習講座の充実</li> <li>・体験機会の充実</li> </ul>	2) 多様な学習機会の提供
<p>問 4 <u>生涯学習の情報源</u>「広報紙」34.9% 「自治会回覧」25.2% 「新聞・雑誌・書籍」23.6% 「知人・友人」21.1% 「SNS」12.6% 「ホームページ」9.1%</p> <p>問 5 <u>最も求める生涯学習情報</u>「講座・イベントの案内」38.3%</p> <p>問 8-1 <u>生涯学習を行っていない理由</u>「情報を得る機会がない」14.9% 「理由がない」14.0% 「関心がない」9.9%</p>	<p>広報紙が多いが SNS といったデジタルを活用した情報収集の手段もある。様々な手段を活用して「講座・イベントの案内」を行う必要がある。</p> <p>既存の情報発信方法では、関心と呼ぶ情報が届いていない層が一定数ある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS の普及</li> <li>・若年層へのリーチ</li> <li>・デジタル弱者</li> <li>・社会課題への関心の高まり</li> <li>・フィルターバブル※1</li> </ul>	<p>若年層や子育て世代の参加意欲に向けた周知など、幅広い情報発信が課題。地域課題解決に繋がる必要課題の発信も必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な媒体による情報発信</li> <li>・社会課題の情報発信</li> </ul>	3) 幅広い世代へ向けた情報発信
<p>問 7-3 <u>生涯学習の実施場所</u>「同好者のグループ活動」27.1%</p> <p>問 7-5 <u>生涯学習を行うことで得られた良さや実感</u> 「学習を通じて仲間や友人ができた」30.2% 「学習を通じて地域(住民・団体等)との交流を深めることができた」17.7%</p> <p>問 14 <u>生涯学習の成果を地域社会で生かす意欲</u> 「生かしたいが、現在はできていない」38.7%</p>	<p>グループ活動の活性化により生涯学習を行う人の増加が期待される。</p> <p>学習を通じて団体に参加することで、地域における活動の広がりが期待される。</p> <p>生涯学習の成果を地域で生かしたいと考える層は一定数おり、きっかけの一つとして団体活動への参加もある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティの希薄化</li> <li>・後継者や担い手不足</li> <li>・市民活動の多様化</li> <li>・地域資源(文化、歴史、自然等)消失のリスク</li> </ul>	<p>各分野での活動を担う団体の自主的な活動を促し、同じ目的を持つ者同士が学びを深める場として活動を支援することが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の主体的な活動の支援</li> <li>・地域資源の保護</li> </ul>	4) 生涯学習団体の支援や資源の保護
<p>問 7-3 <u>生涯学習の実施場所</u> 「民間の講座」25.0% 「大学等の公開講座」1.0%</p> <p>問 12 <u>必要な地域人材の分野</u>「防災・防犯」52.2% 「高齢者支援」47.8% 子育て支援「障がい者支援」「まちづくり」は30%台 「健康・スポーツ」「地域文化や伝統文化の継承・振興」「環境保全」は20%台</p>	<p>民間の講座への参加が増加傾向となっている(前回 15.2%⇒今回 25.0%)。大学等教育機関を含め、多様な実施主体や協働による学習機会の提供が期待される。</p> <p>身近な社会課題に関することについては特に高いニーズがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流の必要性</li> <li>・地域課題の複雑化</li> <li>・官民連携の推進</li> <li>・企業の社会貢献意識の高まり</li> </ul>	<p>多様な実施主体との協働により、様々な分野に対応した活動や交流の場を設け、学習の輪を広げることが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体とともに創る活動機会</li> <li>・国や教育機関との連携による学びの場</li> <li>・企業ノウハウの活用</li> </ul>	5) 連携、協働による学びや活動機会の充実
<p>問 11 <u>「地域人材」の必要度</u>「必要である」65.7%</p> <p>問 13 <u>地域課題を解決するような地域人材の有無</u> 「わからない」79.6%</p> <p>問 16 <u>生涯学習の成果を地域社会で生かす際の課題や困難</u> 「自分の知識や経験が生かすレベルに達していない」44.1% 「時間的余裕がない」42.0% 「身近で生かせる場がない」28.0%</p>	<p>防災や高齢者支援など様々な分野の地域人材が求められているが、どのような人材がいるか、わかりづらくなっている。</p> <p>自身が地域で学びの担い手となることに対して、自信がない、時間的余裕がないと感じている消極的な層が多いが、生かせる場がないと考える層もいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層、子育て世代の地域参画意識の低迷</li> <li>・担い手不足</li> <li>・学びの自己完結</li> </ul>	<p>地域人材を求める声に応じて人材の可視化が必要。学んだことを生かすことができるよう、人材育成を進め、活動の場を創出する取り組みが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学修成果を発揮する場の創出</li> <li>・地域人材の育成</li> </ul>	6) 地域人材の活躍支援

【方向性①】ライフステージや社会変化に応じた学びの推進  
【基本方針1】主体的な学びを支える土台づくり

【方向性②】学びによる地域の活性化に向けたアプローチ  
【基本方針2】地域を支える学びの仕組みづくり

※1 「フィルターバブル」インターネット検索や SNS のアルゴリズムによって、ユーザーの過去の履歴や興味関心に基づき最適化された情報ばかりが表示される現象。情報の偏りや視野が狭くなる可能性があります。

# 生涯学習に関する市民アンケート 結果報告書

令和7年（2025）6月  
羽島市



# 目次

調査概要	1
<b>調査について</b>	<b>2</b>
<b>回答者の属性（問1、問2）</b>	<b>4</b>
調査結果	5
<b>あなたの生涯学習について</b>	<b>6</b>
問3 「生涯学習」のイメージ	6
前回調査との比較	7
問4 生涯学習の情報源	8
問5 最も求める生涯学習情報	9
問6 生涯学習の実施有無	10
問7 - 1 生涯学習の実施内容	11
問7 - 2 生涯学習の実施理由	12
前回調査との比較	13
問7 - 3 生涯学習の実施場所	14
問7 - 4 生涯学習の実施形態	15
前回調査・全国調査との比較	16
問7 - 5 生涯学習を行うことで得られた良さや実感	17
問8 - 1 生涯学習を行っていない理由	18
前回調査・全国調査との比較	19
問8 - 2 今後学習したい・関心のある内容	20
問9 学習がしやすい時間帯	21
<b>地域づくり型生涯学習について</b>	<b>22</b>
問10 「地域づくり型生涯学習」の認知度 参考	22
問11 「地域人材」の必要度	23
問12 必要な地域人材の分野	24
問13 地域課題を解決する地域人材の有無	25
問14 生涯学習の成果を地域社会で生かす意欲	26
参考	27
問15 生涯学習の成果を地域社会で生かす具体例	28
問16 生涯学習の成果を地域社会で生かす際の課題や困難	29
自由意見	31
<b>資料 アンケート調査票</b>	





# 調査概要

# 調査について

## (1) 調査目的

市では「羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画」を策定し、生涯学習に関する各施策を推進しています。本調査は、市民の生涯学習に関する意識や実態を把握するとともに、市民から広くご意見等をお伺いし、本計画の発展・充実を図るための基礎資料として活用するために実施しました。

## (2) 調査項目

具体的な調査項目については、巻末資料の「アンケート調査票」をご参照ください。

本調査には以下に示す項目が含まれています。

あなたの生涯学習について

地域づくり型生涯学習について

## (3) 調査設計

調査地域 羽島市全域

調査対象 市内に居住する満18歳以上の男女

標本数 1,000人

抽出方法 無作為抽出法(年代・性別による層化抽出)

調査期間 令和7年2月10日(月)～令和7年3月10日(月)

調査方法 配布:郵送

回収:郵送又はインターネット

## (4) 回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
男性	490	135	27.5%
女性	510	179	35.0%
その他		4	
合計	1,000	318	31.8%

小数点第2位以下切り捨て

# 調査について

## (5) 報告書の見方

### 集計について

本報告書は、設問ごとに「全体(単純集計)及び性別」を、単一回答の設問には「年齢別」も含めた集計結果を記載しています。また、設問によっては、他調査との比較や参考の掲載を行っています。

比較、参考に利用した調査名は次のとおりです。

- ・羽島市 生涯学習に関する市民意識調査 調査結果報告書(郵送) 令和元年度実施
- ・文部科学省 生涯学習に関する世論調査 令和4年度実施

### グラフ中の「N」について

Number of Cases の略。各設問に該当する回答者総数を表します。

### グラフ中の「%」について

「%」は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合(あてはまるものすべてに をつけるなど)は、「N」に対する各選択肢の回答者数の割合を示しています。

### 設問文及び選択肢の記載について

本報告書中の設問文及び表やグラフ等の見出し、文章中での選択肢は、本来の意味を損なわない程度に変更または省略して掲載している場合があります。

### 分析について

人数が極めて少ないカテゴリー層については、誤差が大きくなると考えられるため、分析から除外している場合があります。単一回答の設問に対して複数回答があった場合は、平均値に数値化しデータセットに含んでいます。

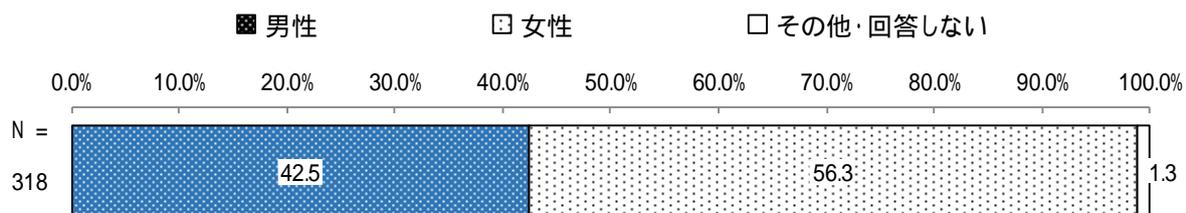
### 「その他」の回答について

選択肢「その他」でのご意見は回答を抜粋し、意味を損なわない程度に変更または省略して掲載しています。また、選択肢「その他」でのご意見が既存の選択肢に該当すると判断された場合、回答数は該当する選択肢に含んでいます。

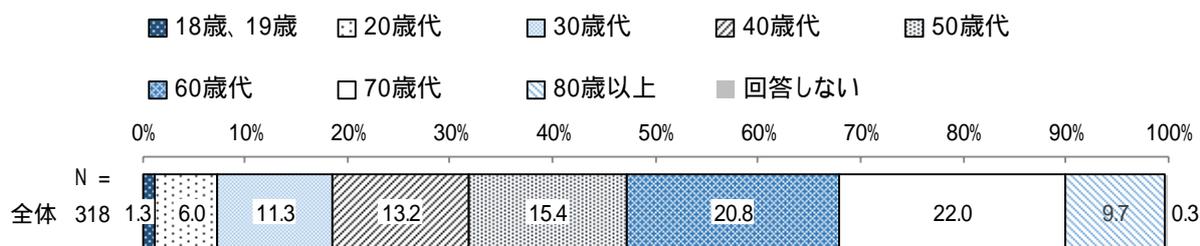
# 回答者の属性

「性別」「年代」は以下のとおりです。

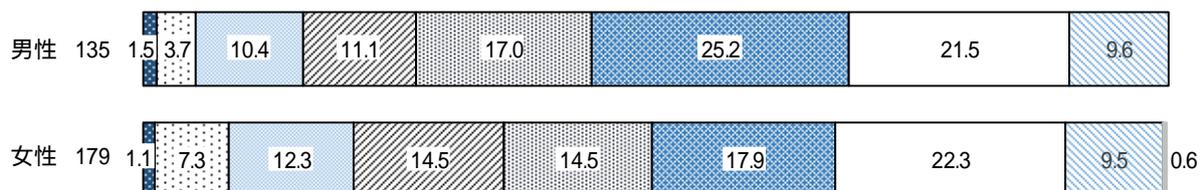
**問 1** あなたの性別は、次のどれに当てはまりますか。（回答は一つ）



**問 2** あなたの年齢は、次のどれに当てはまりますか。（回答は一つ）



【性別】





# 調查結果

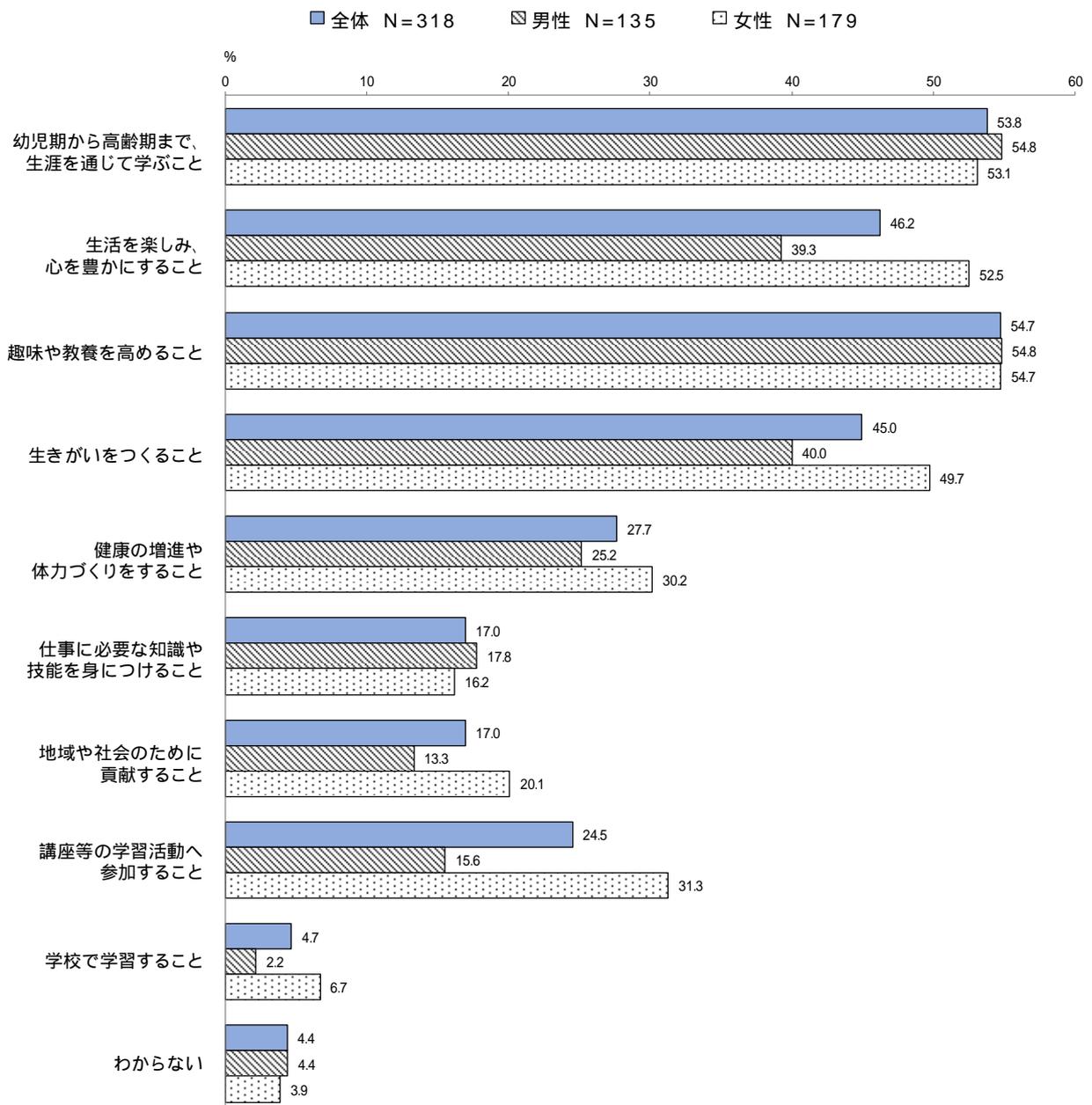
### 問 3 あなたは「生涯学習」という言葉からどんなことを思い浮かべますか。（複数回答可）

趣味や教養を高めること  
54.7%

幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと  
53.8%

生活を楽しみ、心を豊かにすること  
46.2%

全体、性別ともに「趣味や教養を高めること」が最も高く、次いで「幼少期から高齢期まで生涯を通じて学ぶこと」、が高くなっています。一方、「仕事に必要な知識や技能を身に着けること」や「地域や社会のために貢献すること」はどちらも全体で17.0%と低くなっています。



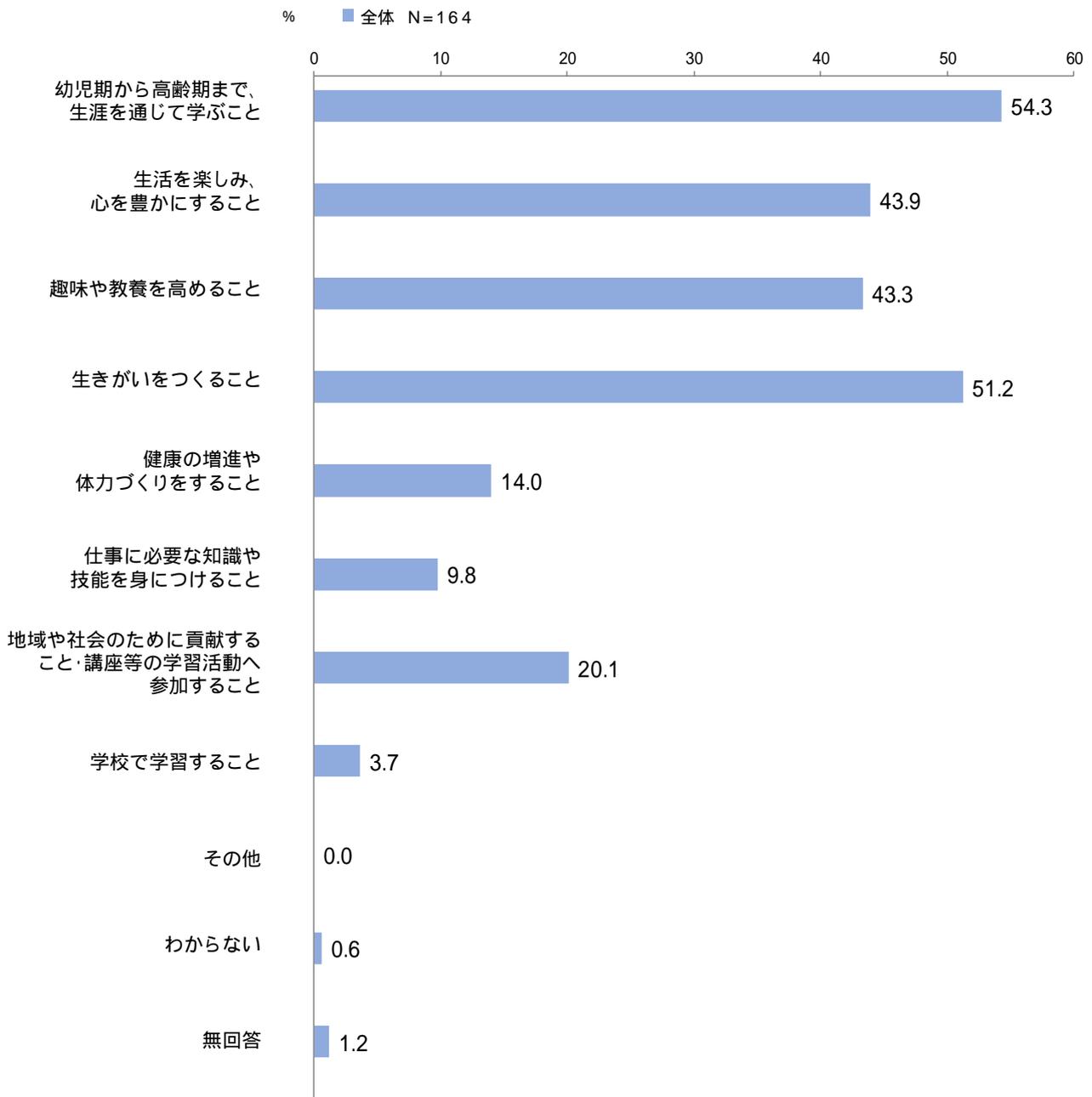
## 前回調査との比較

### ▶「生涯学習」のイメージ

#### 前回調査

あなたは「生涯学習」という言葉にどのようなイメージを持っていますか。(複数回答可)

前回と今回の調査を比較すると、全体の回答割合は「趣味や教養を高めること」が11.4%増加、「健康の増進や体力づくりをすること」が13.7%増加となりました。一方、「生きがいをつくること」は6.2%の減少となりました。



羽島市 生涯学習に関する市民意識調査 調査結果報告書

令和元年7月実施

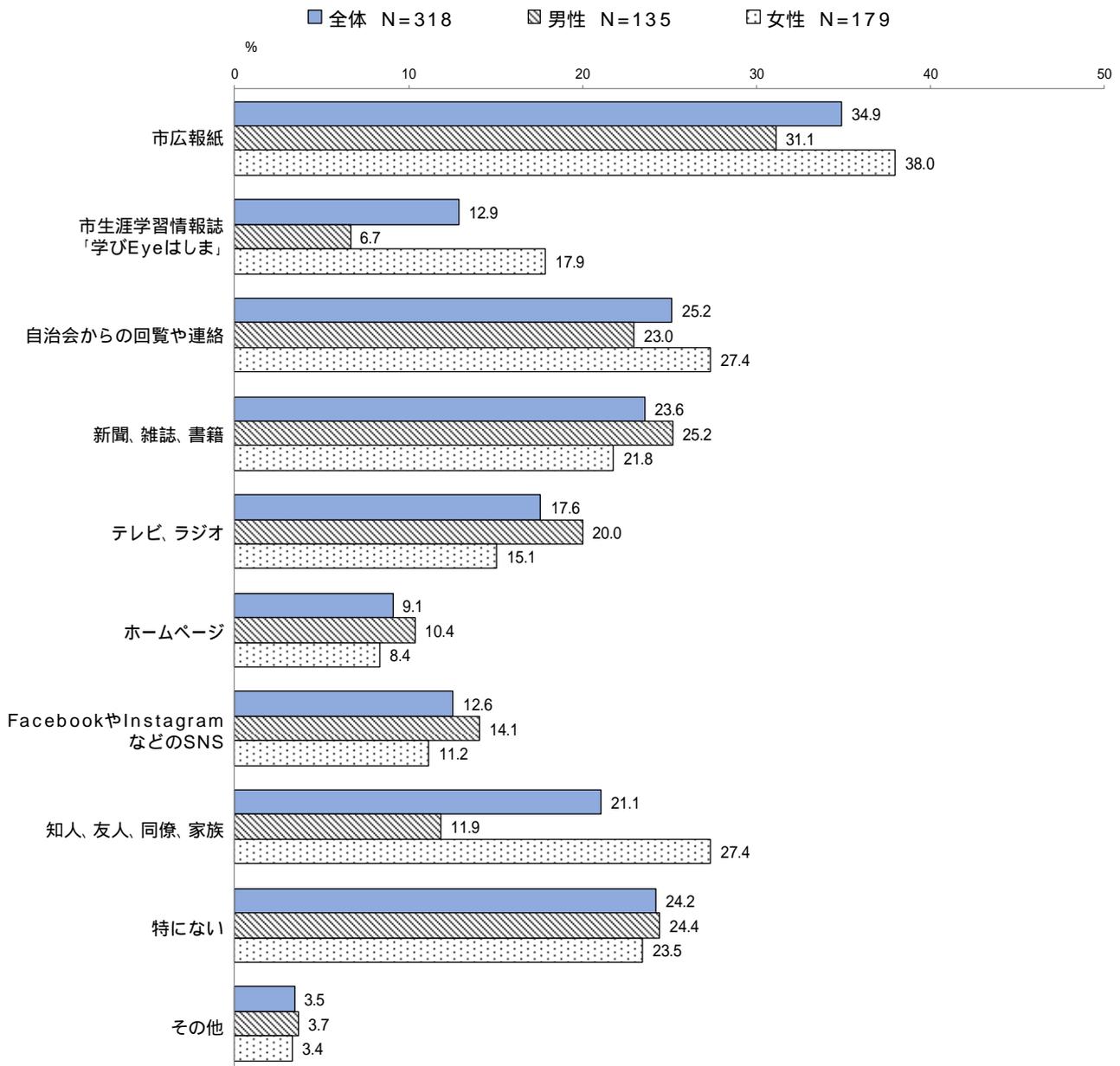
### 問 4 あなたは生涯学習の情報をどこから得ていますか。（複数回答可）

市広報紙  
34.9%

自治会からの回覧や連絡  
25.2%

特にない  
24.2%

全体、性別ともに「市広報紙」が最も高くなっています。次いで全体では「自治会からの回覧や連絡」「新聞、雑誌、書籍」が高くなっており、「特にない」と回答した割合が20%台となっています。「知人、友人、同僚、家族」では、男性が11.9%に対し女性が27.4%と回答した割合に大きな差が出ています。



【その他の回答】 動画、インターネット、大学等、パソコン教室、コミュニティセンター、寺院、生活環境

# あなたの生涯学習について

## ▶ 最も求める生涯学習情報

### 問 5 現在どのような情報が最も欲しいですか。（回答は1つ）

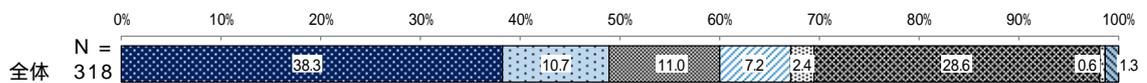
講座、イベントなどの案内  
38.3%

特にない  
28.6%

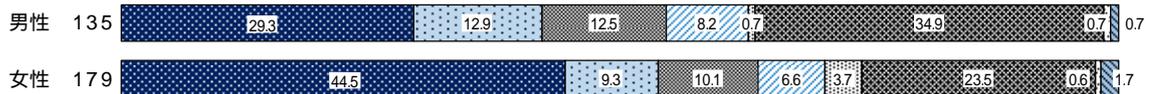
資格に関する情報  
11.0%

全体で見ると「講座、イベントなどの案内」が最も高く、次いで「特にない」となっています。「資格に関する情報」は全体で見ると11.0%と低いですが、性別・年代別で見ると男性の10代・30代・50代や女性の10代・20代・30代・40代などに割合の高まりが見えます。

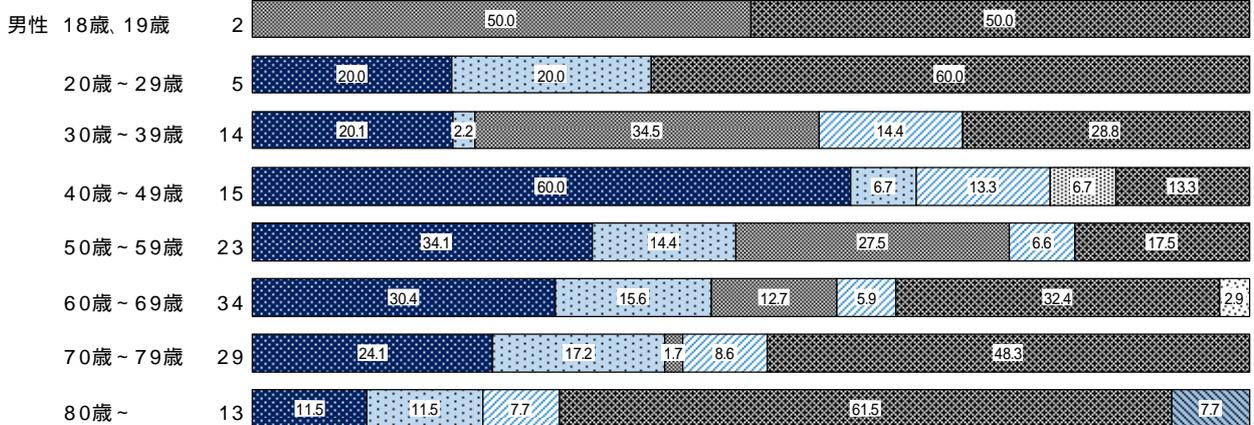
- 講座、イベントなどの案内
- サークル、ボランティア活動などの情報
- 資格に関する情報
- 図書館等の施設の情報
- 講師、指導者の人材情報
- 特にない
- その他
- 無回答



#### 【性別】



#### 【年齢別】



【その他の回答】 仕事、趣味

# あなたの生涯学習について

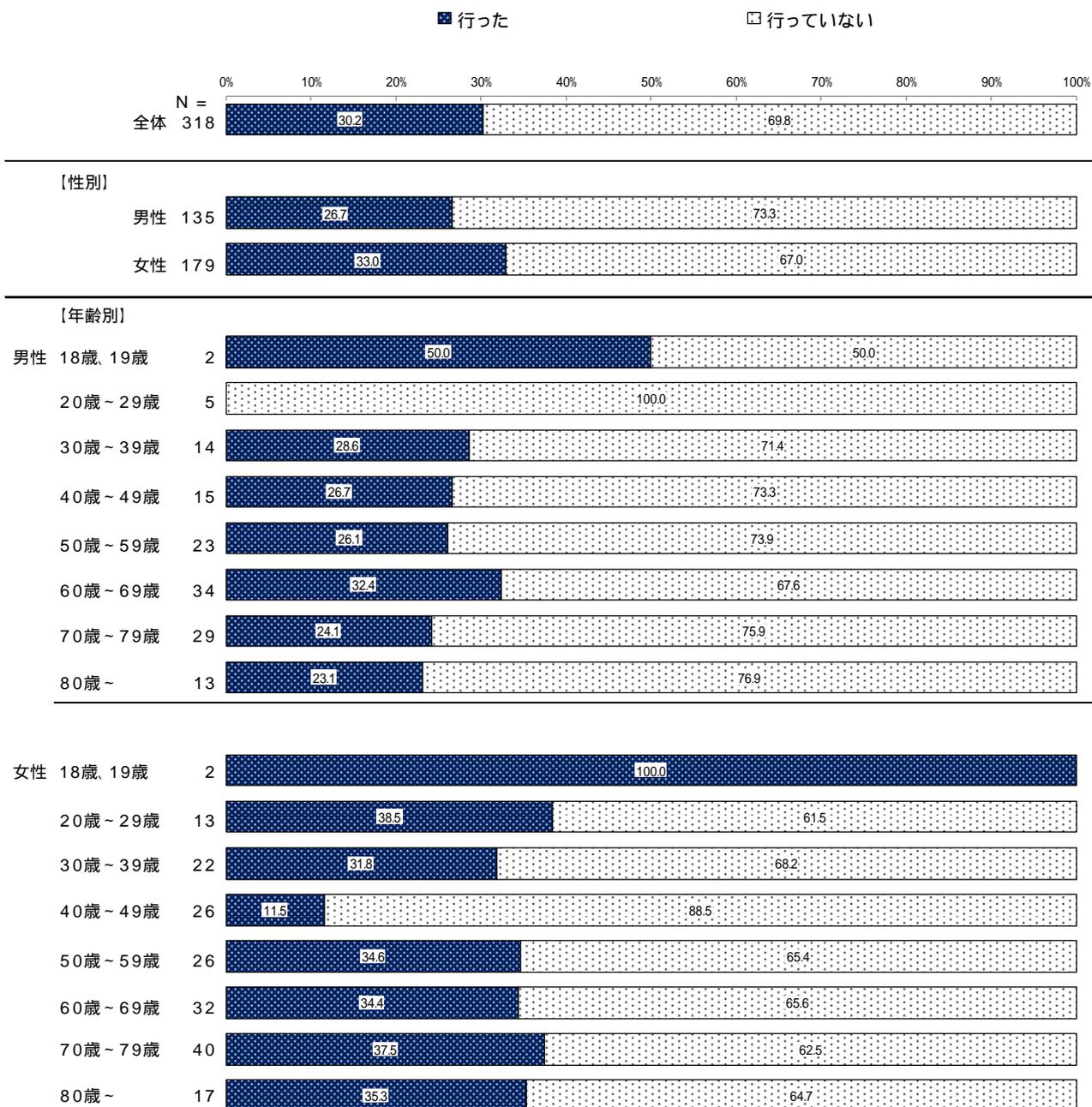
## ▶ 生涯学習の実施有無

**問 6** あなたはこの1年間くらいの間には生涯学習を行いましたか。（回答は1つ）

行っていない  
69.8%

行った  
30.2%

全体でみると「行っていない」は69.8%と回答の半数以上を占めています。「行った」の割合を性別で見ると、女性33.0%が男性26.7%をわずかに上回りますが、どちらも低い割合となっています。「行った」の割合を性別・年齢別で見ると、男性20代は0%、女性40代は11.5%となっており、他の年代と比べ著しく低い傾向にあります。



# あなたの生涯学習について

## ▶ 生涯学習の実施内容

問6 あなたはこの1年間くらいの間には生涯学習を行いましたかに「行った」と回答

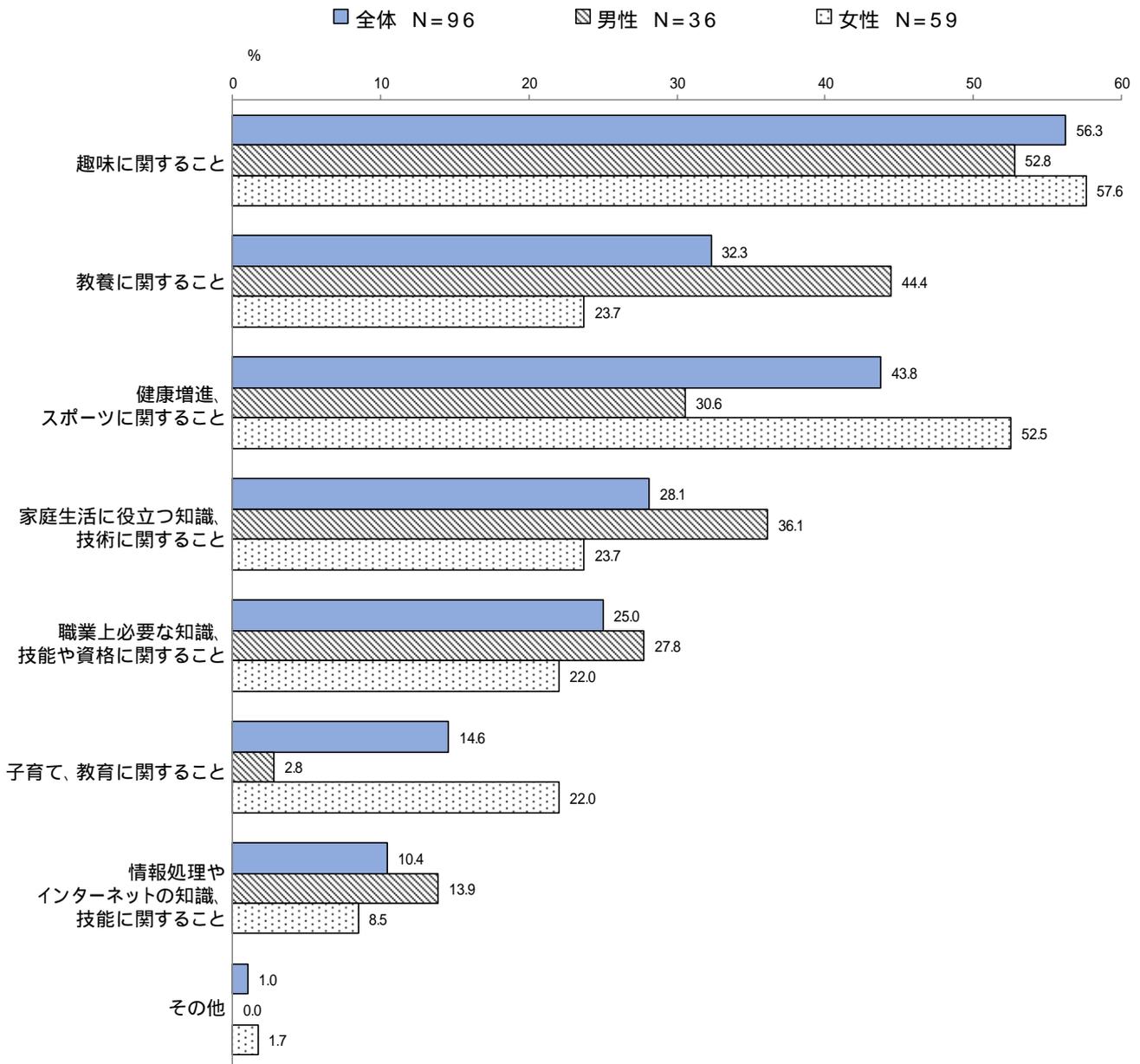
問7-1 あなたはこの1年間くらいの間にはどのような生涯学習を行いましたか。（複数回答可）

趣味に関すること  
56.3%

健康増進、スポーツに関すること  
43.8%

教養に関すること  
32.3%

全体、性別ともに「趣味に関すること」が最も高くなっています。次いで、男性は「教養に関すること」44.4%、「家庭生活に役立つ知識、技術に関すること」36.1%が高く、女性は「健康増進、スポーツに関すること」52.5%、「教養に関すること」および「家庭生活に役立つ知識、技術に関すること」23.7%が高くなる傾向にあります。



【その他の回答】 コミュニティ活動

# あなたの生涯学習について

## ▶ 生涯学習の実施理由

問6 あなたはこの1年間くらいの間に生涯学習を行いましたかに「行った」と回答

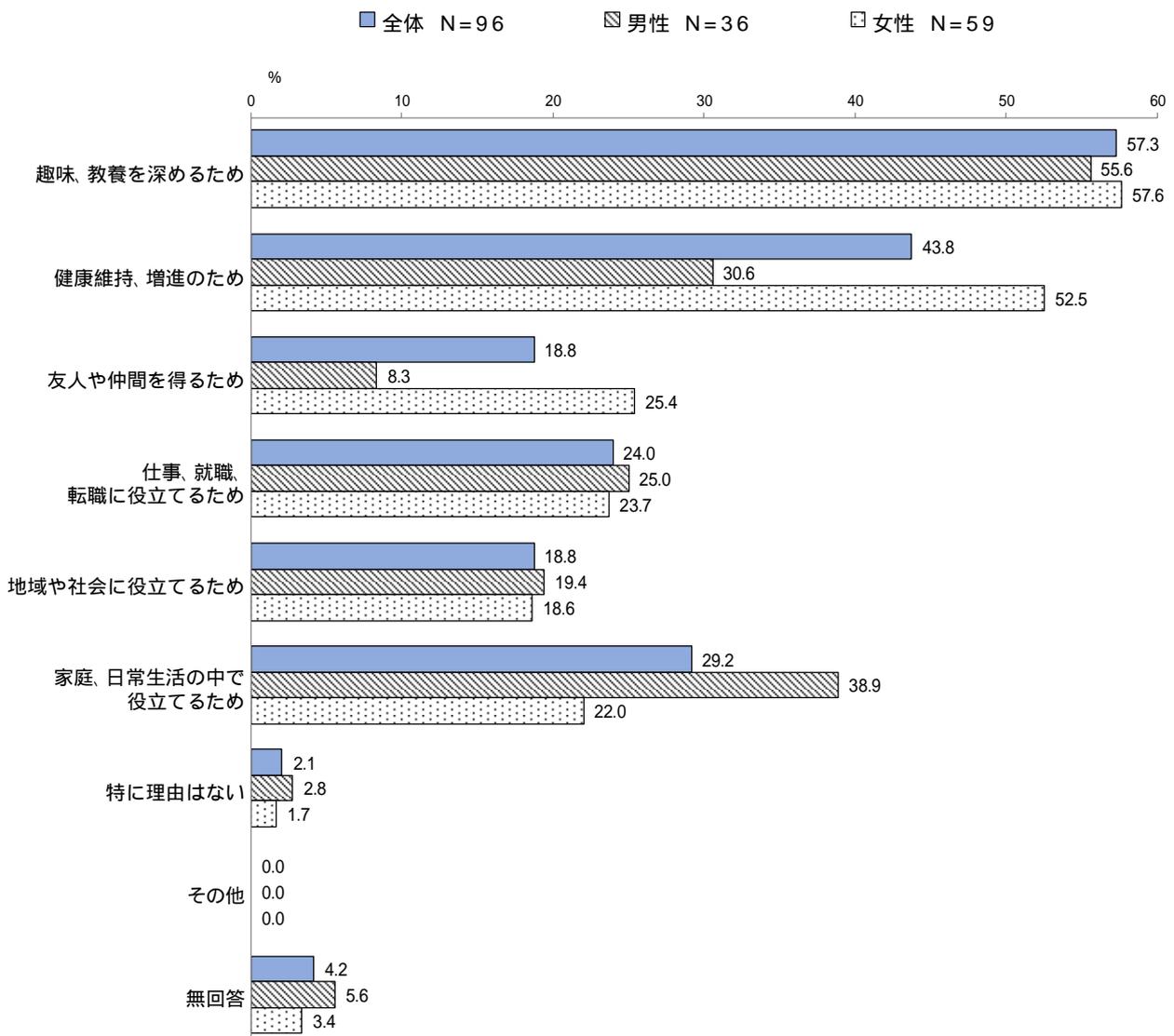
問7-2 問7-1の学習を行った理由は何ですか。（複数回答可）

趣味、教養を深めるため  
57.3%

健康維持、増進のため  
43.8%

家庭、日常生活の中で役立てるため  
29.2%

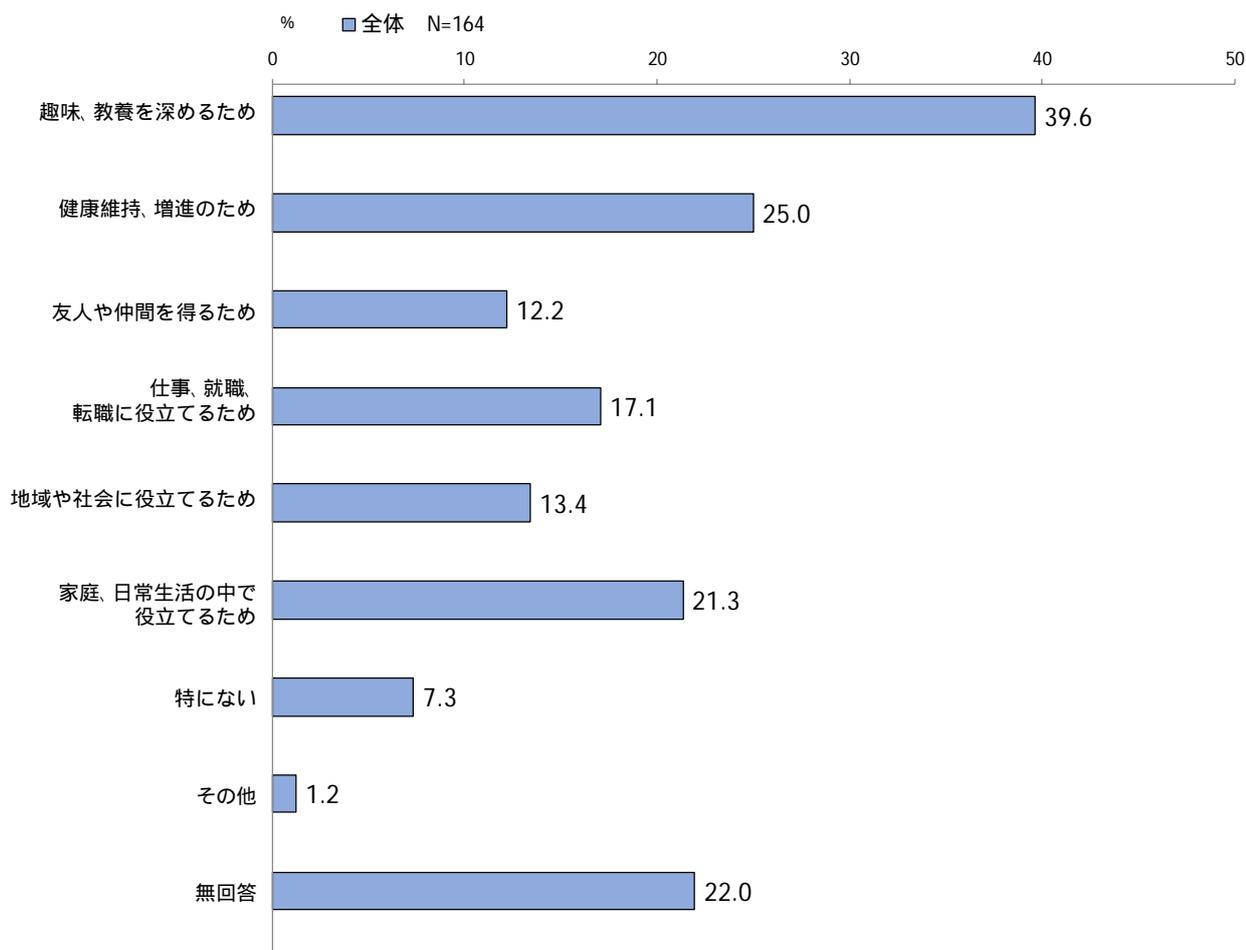
全体、性別ともに「趣味、教養を深めるため」が最も高くなっています。次いで男性は「家庭、日常生活の中で役立てるため」38.9%、「健康維持、増進のため」30.6%が高く、女性は「健康維持、増進のため」52.5%、「友人や仲間を得るため」25.4%が高くなる傾向にあります。



### 前回調査

あなたが過去1年間に活動を行った理由は何ですか。  
また、これから行うとしたら何を理由に行いますか。(複数回答可)

前回と今回の調査を比較すると、全体の回答割合は「趣味や教養を高めること」が17.7%増加、「健康維持、増進のため」が18.8%増加、「友人や仲間を得るため」が6.6%増加、「家庭、日常生活の中で役立てるため」が7.9%増加と、ほとんどの項目で割合が増加しました。



# あなたの生涯学習について

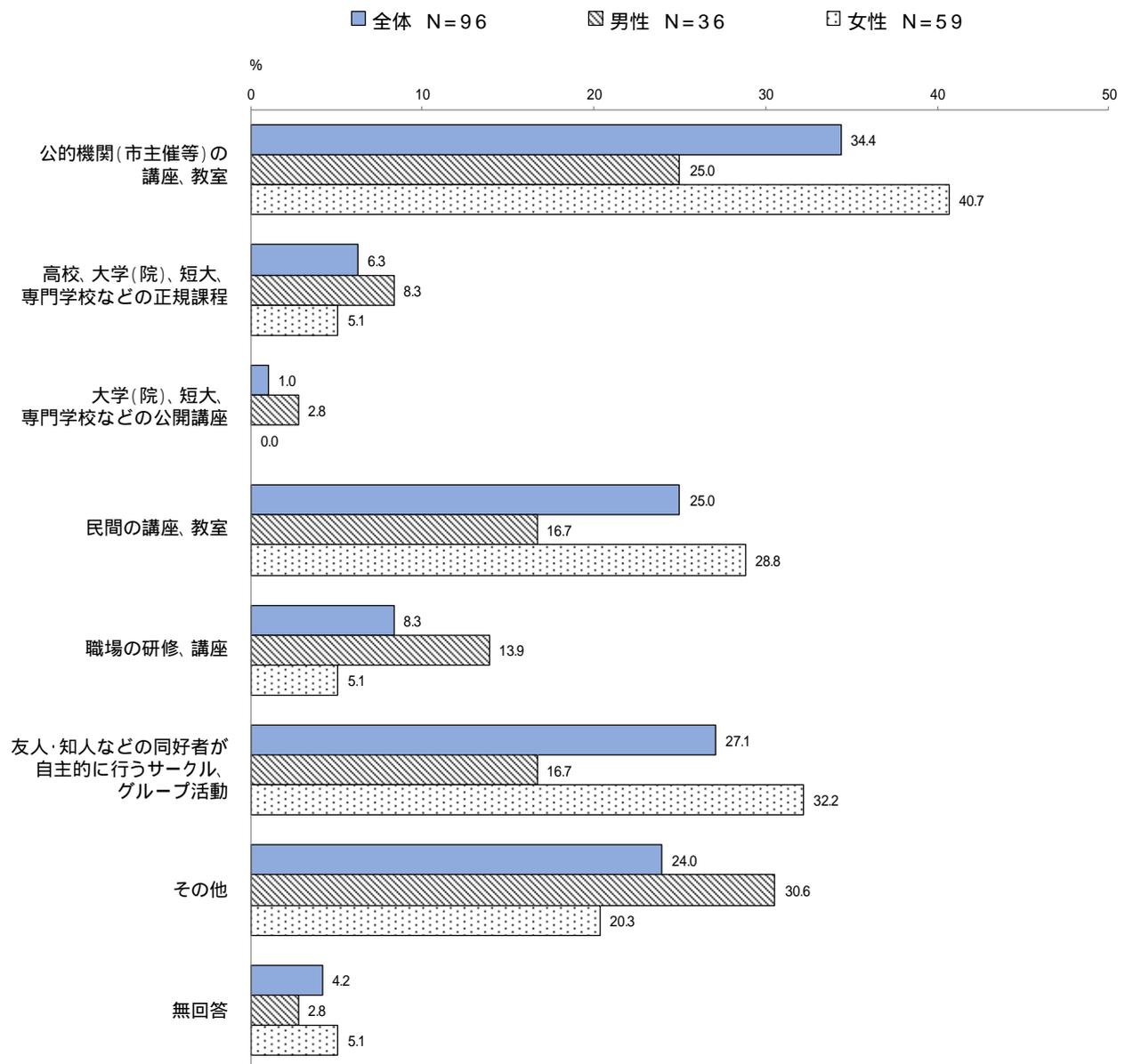
## ▶ 生涯学習の実施場所

問6 あなたはこの1年間くらいの間に生涯学習を行いましたかに「行った」と回答

問7-3 問7-1の学習はどのような場で行いましたか。(複数回答可)

公的機関(市主催等)の講座、教室 34.4%	友人・知人などの同好者が自主的に行う サークル、グループ活動 27.1%	民間の講座、教室 25.0%
---------------------------	--	-------------------

全体でみると「公的機関(市主催等)の講座、教室」が最も高くなっています。性別でみると男性は「その他」30.6% (内訳は下部参照)、「公的機関(市主催等)の講座、教室」25.0%の順に高く、女性は「公的機関(市主催等)の講座、教室」40.7%、「友人・知人などの同好者が自主的に行うサークル、グループ活動」32.2%の順に高くなっています。



【その他の回答】 自宅、スポーツ施設、カフェ、病院での公開講座、寺院の講座、家庭教師、書籍やラジオ

# あなたの生涯学習について

## ▶ 生涯学習の実施形態

問6 あなたはこの1年間くらいの間に生涯学習を行いましたかに「行った」と回答

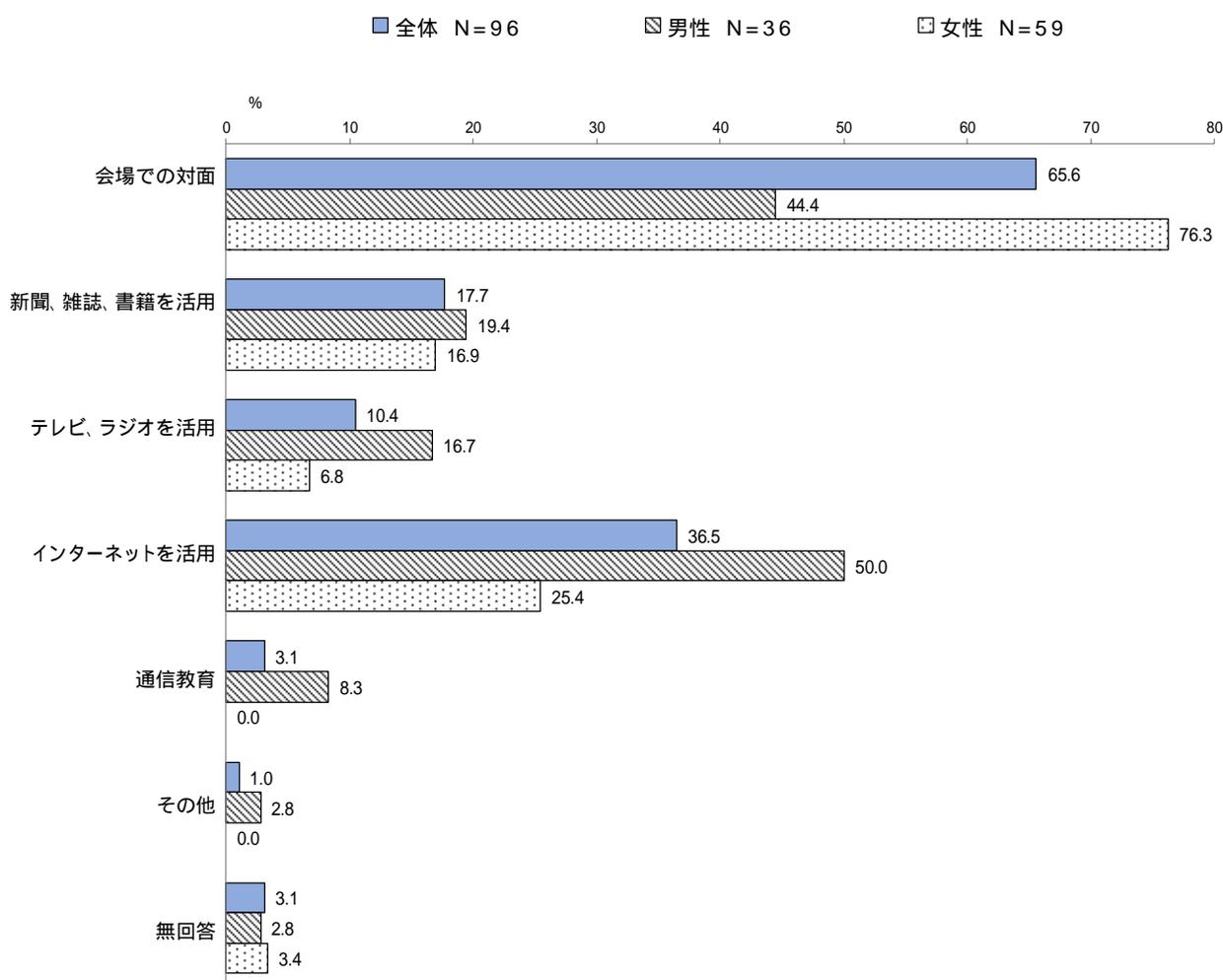
問7-4 問7-1の学習はどのような形態で行いましたか。(複数回答可)

会場での対面  
65.6%

インターネットを活用  
36.5%

新聞、雑誌、書籍を活用  
17.7%

全体でみると、「会場での対面」が65.6%と最も高く、次いで「インターネットを活用」が36.5%となっています。性別でみると男性は「インターネットを活用」50.0%、次いで「会場での対面」44.4%となっています。女性は「会場での対面」76.3%が圧倒的に高くなっており、次いで「インターネットを活用」25.4%となっています。



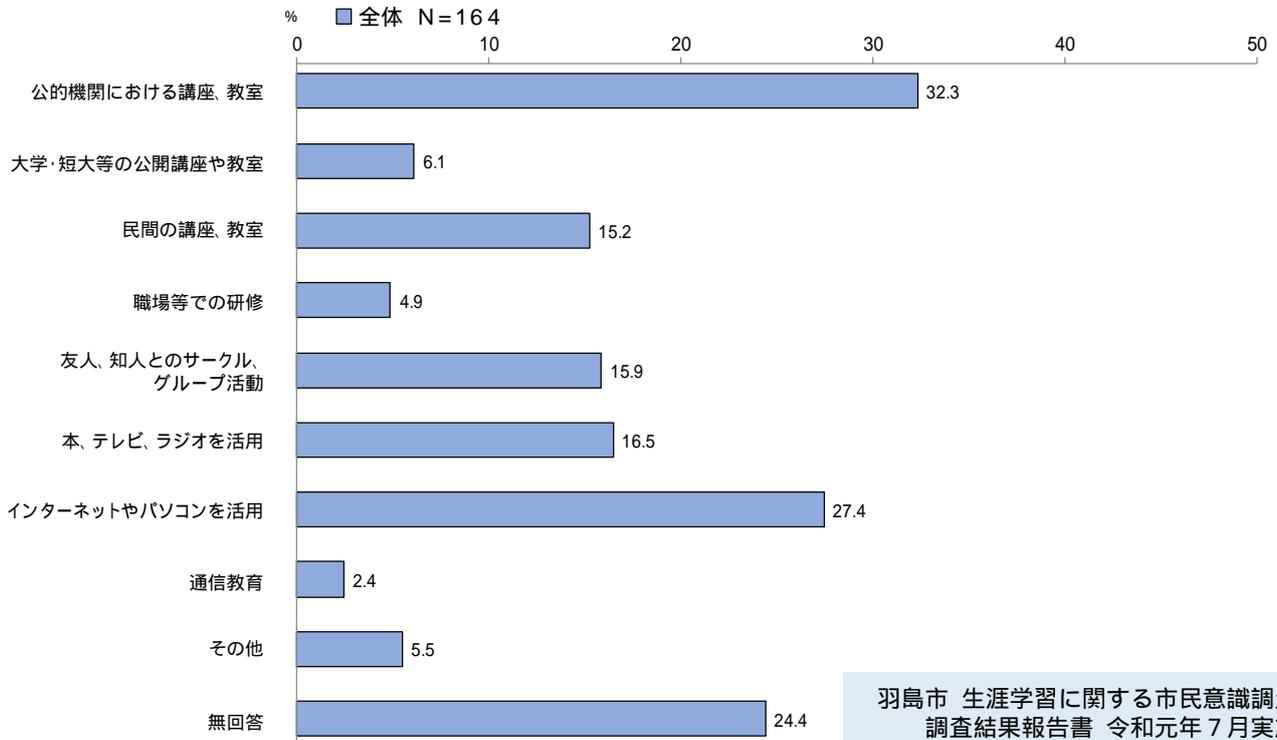
【その他の回答】 家庭教師

# 前回調査・全国調査との比較 ▶ 生涯学習の実施場所 ▶ 生涯学習の実施形態

学習の場の調査では今回、前回、全国いずれも「公的機関の講座、教室」が30%台となっていますが「友人とのサークル、グループ活動」は今回調査が27.1%と前回や全国調査と比べて高い割合となりました。学習形態では全国調査を見ると「インターネット」が58.7%と市の調査と比べて高くなっています。

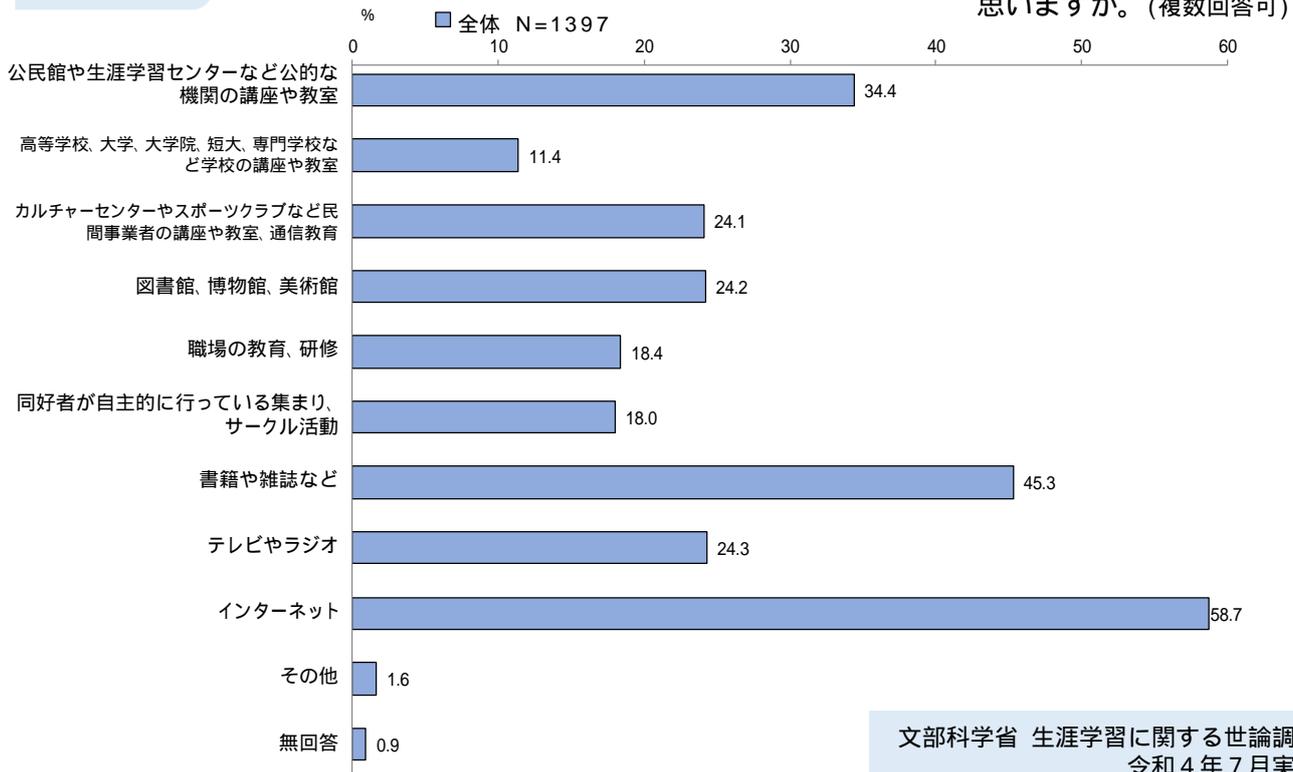
## 前回調査

あなたが過去1年間に行った活動はどのような場所や形態で行いましたか。また、これから行うとしたらどのような場所や形態で行いますか。(複数回答可)



## 全国調査

あなたは、これから学習するとした場合、どのような場所や形態で学習したいと思いますか。(複数回答可)



# あなたの生涯学習について

▶ 生涯学習を行うことで得られた良さや実感

問6 あなたはこの1年間くらいの間に生涯学習を行いましたかに「行った」と回答

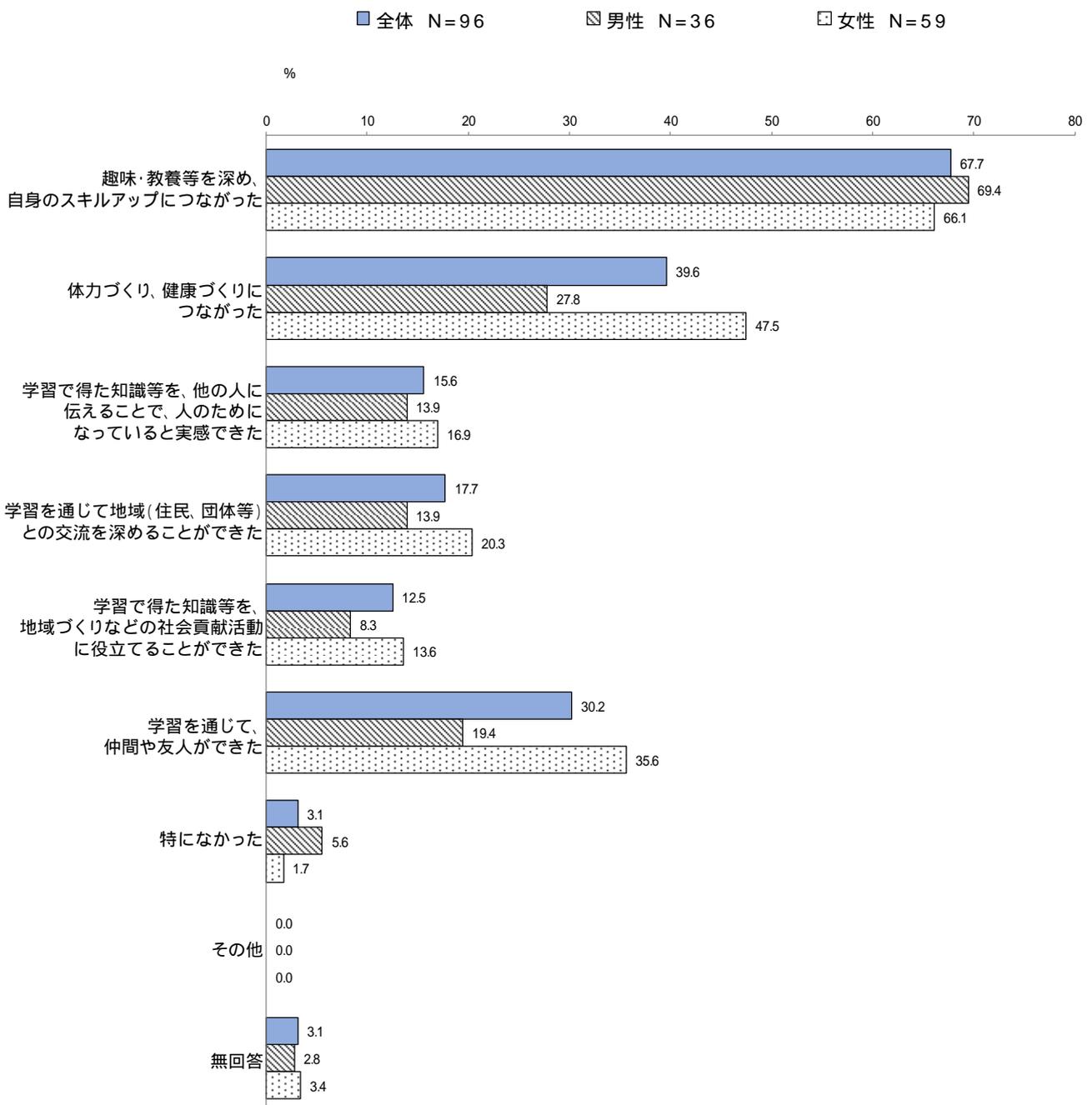
問7-5 問7-1の学習を通じてどのような良さを味わうことができましたか。（複数回答可）

趣味・教養等を深め、スキルアップにつながった  
67.7%

体力づくり、健康づくりにつながった  
39.6%

学習を通じて、仲間や友人ができた  
30.2%

全体、性別ともに、「趣味・教養等を深めスキルアップにつながった」が最も高く、次いで「体力づくり、健康づくりにつながった」、「学習を通じて、仲間や友人ができた」が高くなっています。また「学習で得た知識等を、他の人に伝えることで、人のためになっていると実感できた」は15.6%、「学習で得た知識等を、地域づくりなどの社会貢献活動に役立てることができた」は12.5%の回答がありました。



# あなたの生涯学習について

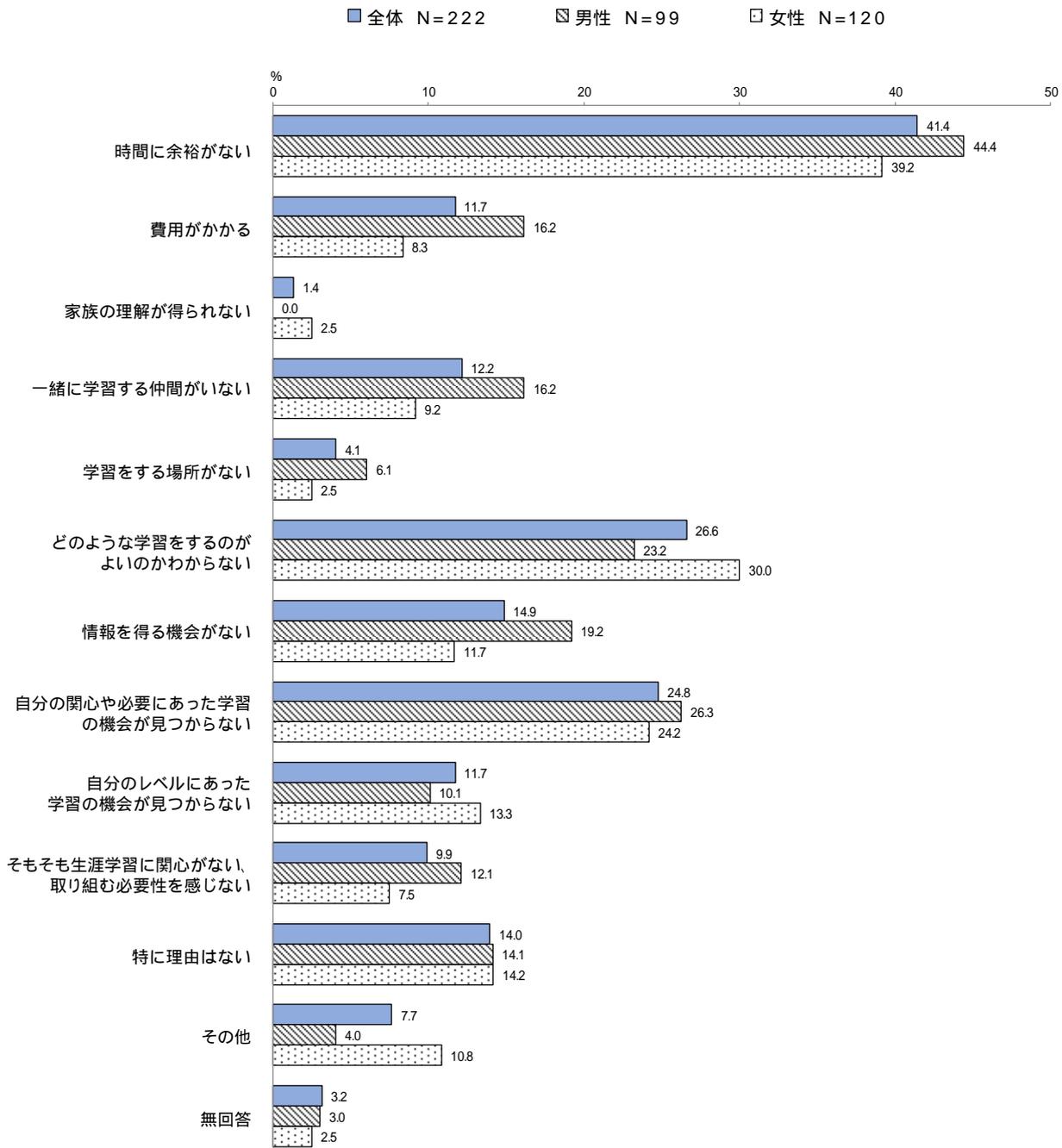
## ▶ 生涯学習を行っていない理由

問6 あなたはこの1年間くらいの間に生涯学習を行いましたかに「行っていない」と回答

問 8-1 あなたが生涯学習を行っていない理由は何ですか。（複数回答可）

時間に余裕がない 41.4%      どのような学習をするのがよいのかわからない 26.6%      自分の関心や必要にあった学習の機会が見つからない 24.8%

全体、性別ともに「時間に余裕がない」が最も高くなっています。男性は「自分の関心や必要にあった学習の機会が見つからない」26.3%が続き、女性は「どのような学習をするのがよいのかわからない」30.0%が続いています。一方、「特に理由はない」や「そもそも生涯学習に関心がない、取り組む必要性を感じない」が全体、性別ともに10%前後の回答があります。



【その他の回答】 生涯学習とは何かわからないため、仕事のため、高齢のため、体調不良・入院のため、感染症が怖いため、趣味が多くて増やせないため

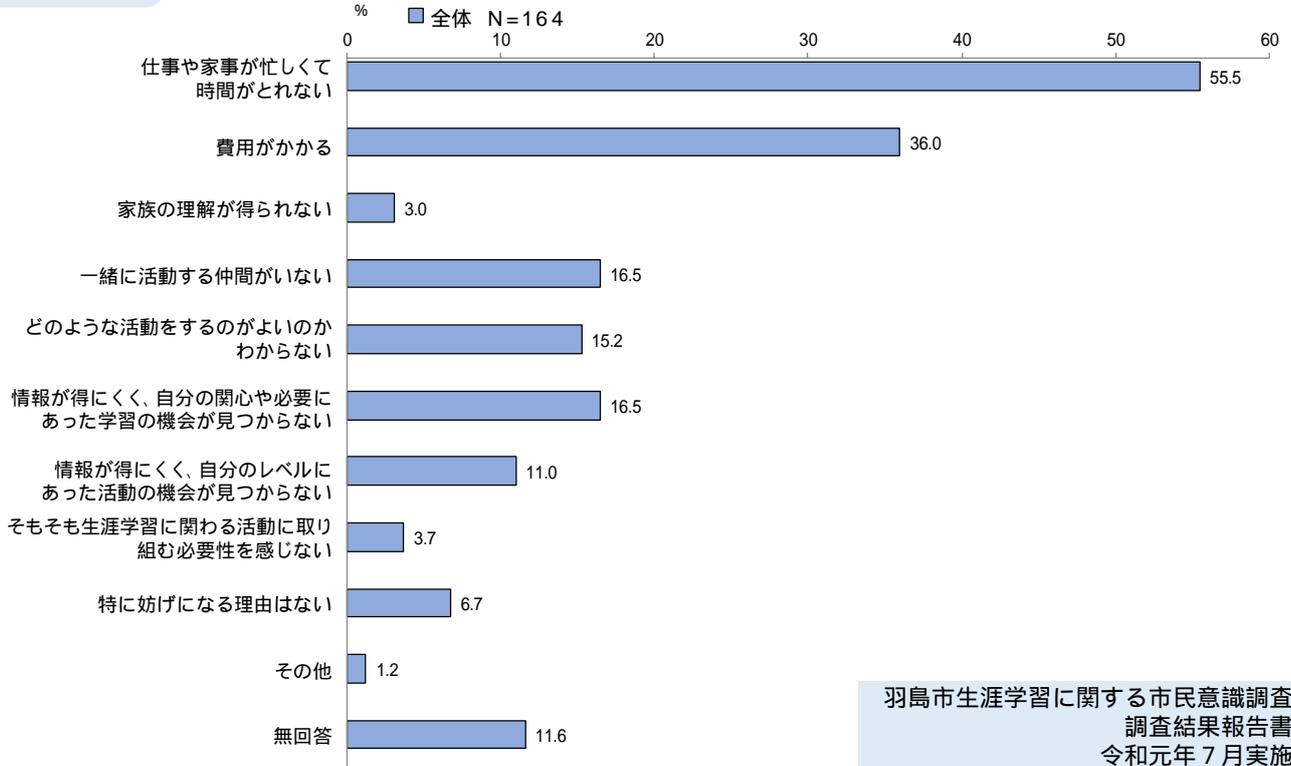
# 前回調査・全国調査との比較

## ▶ 生涯学習を行っていない理由

生涯学習の妨げと考えられるのは、今回、前回、全国の調査いずれも「時間に余裕がない」が高い割合となっています。全国調査を見ると「特に必要がない」が45.5%と高い割合となっています。

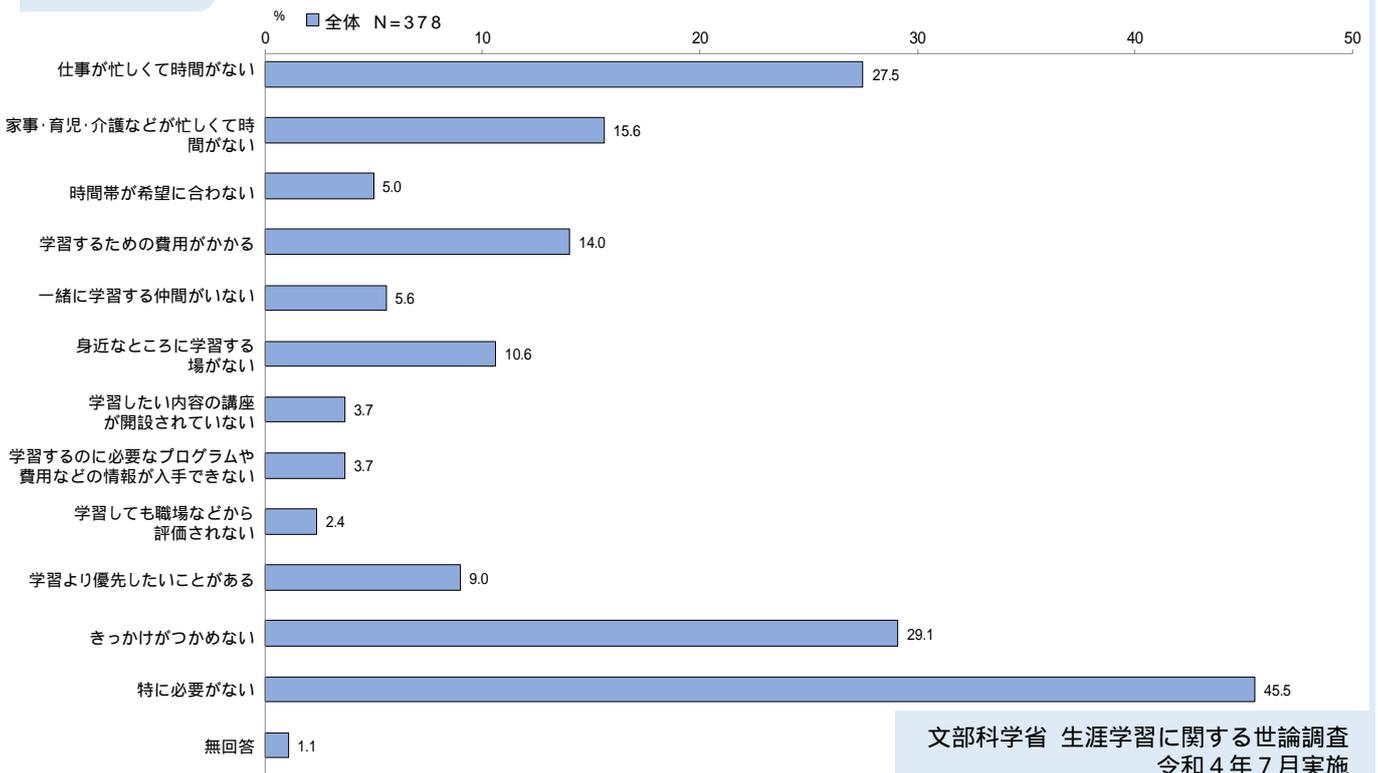
### 前回調査

活動に取り組む際、どのようなことが妨げになると思いますか。(複数回答可)



### 全国調査

学習していない理由は何ですか。(複数回答可)



# あなたの生涯学習について

▶ 今後学習したい・関心のある内容

問6 あなたはこの1年間くらいの間に生涯学習を行いましたかに「行っていない」と回答

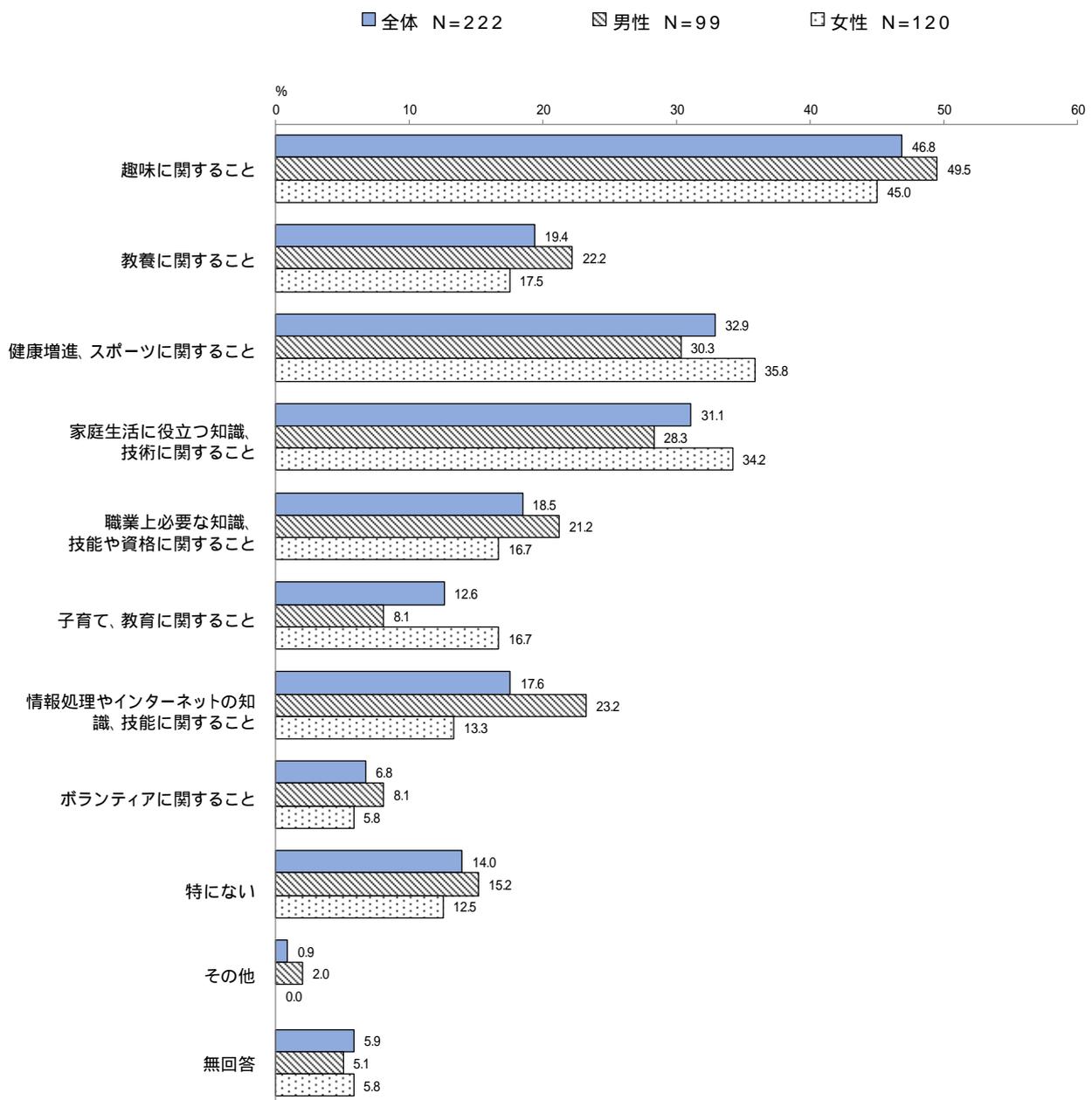
問8-2 できれば学習したい・学習してもよいと思う内容はどんなものですか。（複数回答可）

趣味に関すること  
46.8%

健康増進、スポーツに関すること  
32.9%

家庭生活に役立つ知識、技術に関すること  
31.1%

全体、性別ともに「趣味に関すること」が最も高く、「健康増進、スポーツに関すること」、「家庭生活に役立つ知識、技術に関すること」が次に高くなっています。「職業上必要な知識、技能や資格に関すること」や「情報処理やインターネットの知識、技能に関すること」といった職業スキルに関する項目はどちらも男性が高くなる傾向にあります。

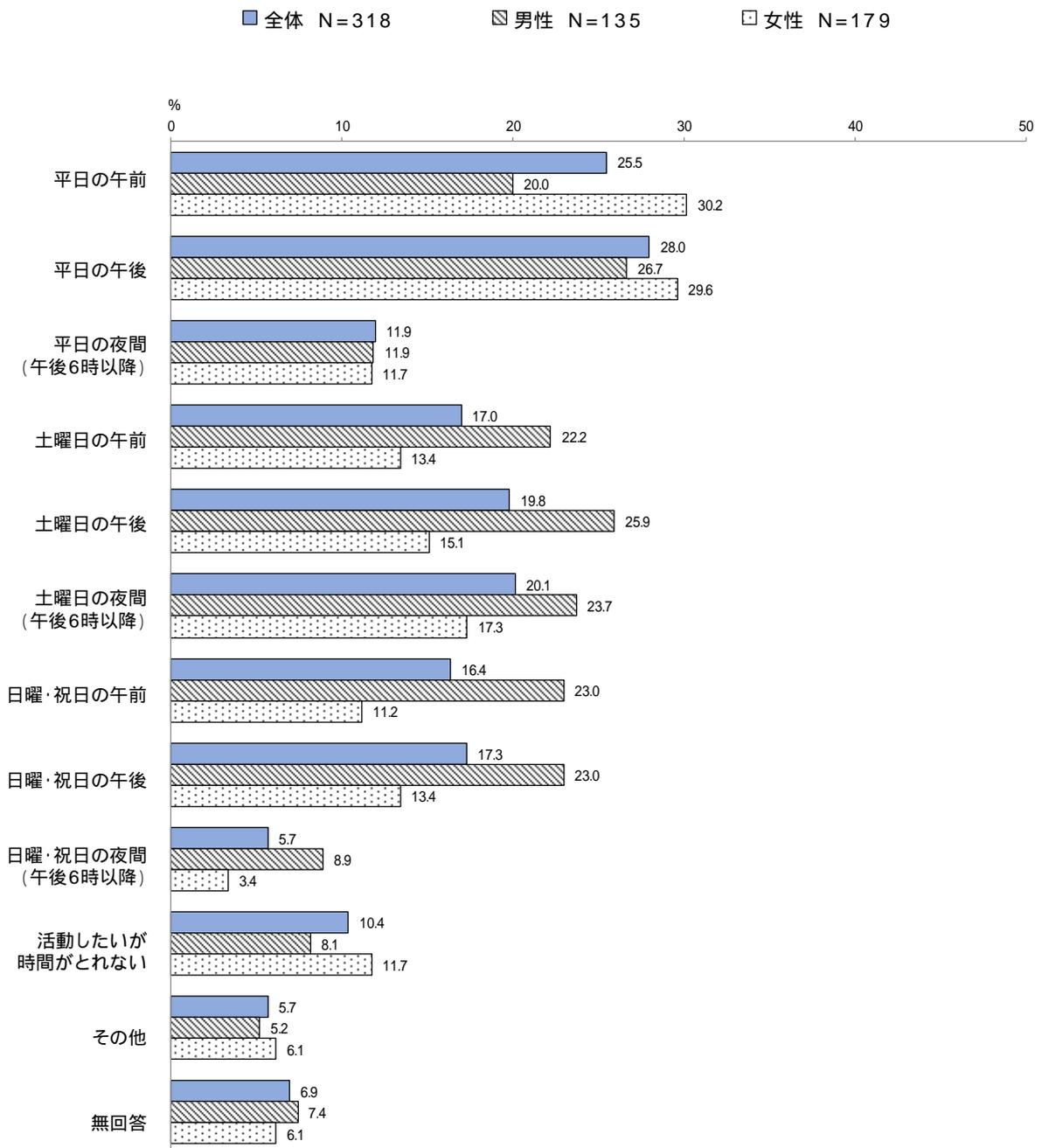


【その他の回答】 絵画、合唱、救急救命、けが病気時の応急処置法

### 問 9 生涯学習をする場合、学習がしやすい時間帯はいつですか。（複数回答可）

平日の午後 28.0%
  平日の午前 25.5%
  土曜日の夜間(午後6時以降) 20.1%

全体でみると、「平日の午後」が最も高く、次いで「平日の午前」となっています。男性では「平日の午後」26.7%が最も高くなっていますが、「土曜日の午後」「土曜日の夜間(午後6時以降)」「日曜・祝日の午前」などの割合も20%台となっており、休日が学習しやすいと回答する割合が高い傾向にあります。



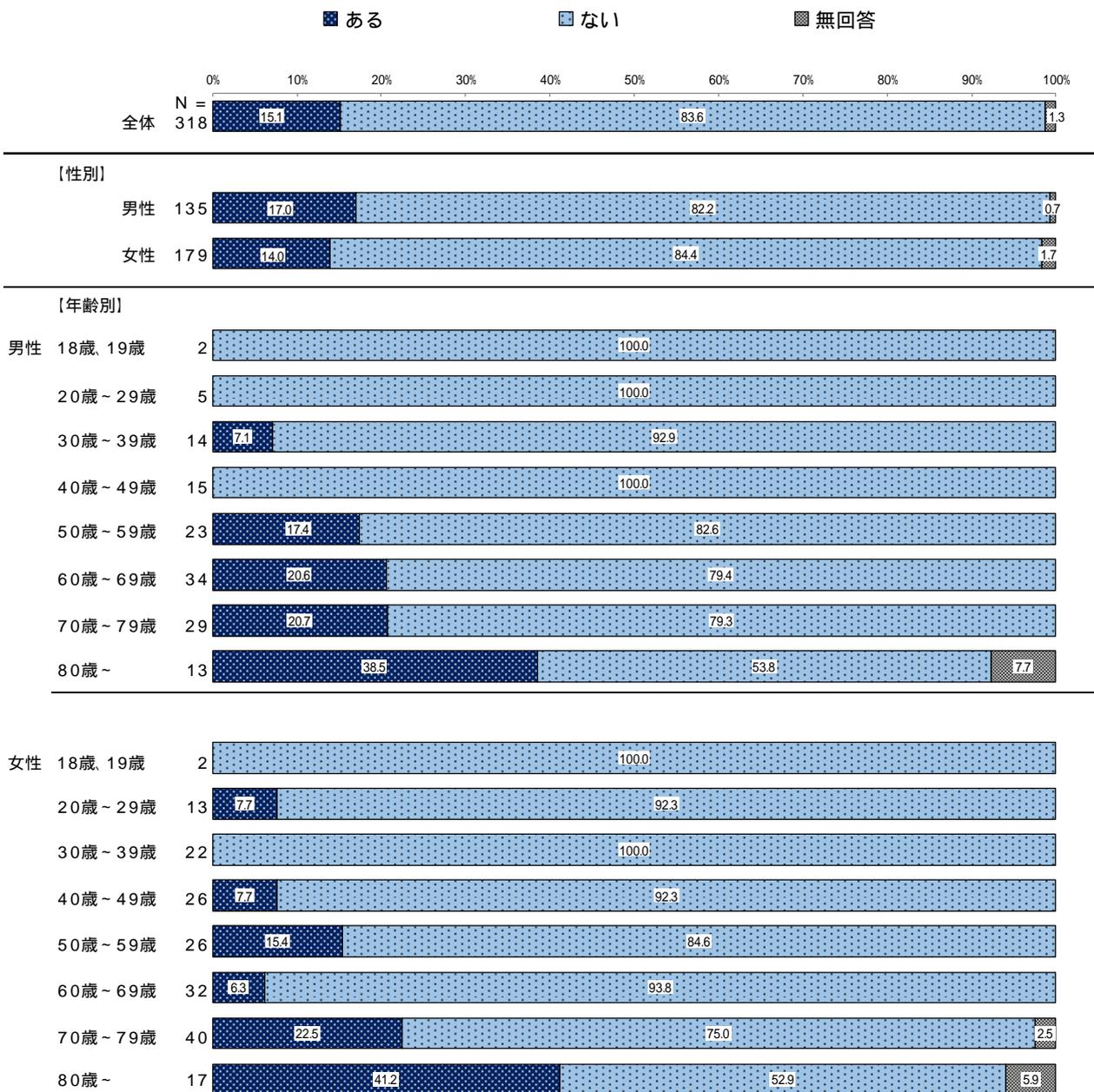
【その他の回答】 イレギュラーな勤務形態のため定まらない、休日の前日18時以降、不定休の休日の早朝や夜間、すきま時間、在宅時、早く就寝し夜中

# 地域づくり型生涯学習について ▶ 「地域づくり型生涯学習」の認知度

**問 10** 市では、身に付けた知識や経験を地域社会に生かし、地域課題を解決する「地域づくり型生涯学習」を推進しています。あなたは、「地域づくり型生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか（回答は1つ）

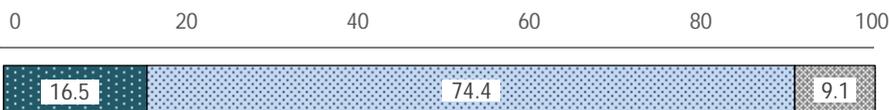
ない 83.6%
 ある 15.1%

全体でみると「地域づくり型生涯学習」という言葉を聞いたことが「ある」という回答が15.1%に対し、「ない」という回答が83.6%と大きく差が開いています。年齢で見ると、聞いたことが「ある」という回答の割合は、年齢が上がる越高くなる傾向にあります。



## 参考

全体 N=164 %



羽島市生涯学習に関する市民意識調査  
調査結果報告書 令和元年7月実施

# 地域づくり型生涯学習について ▶ 「地域人材」の必要度

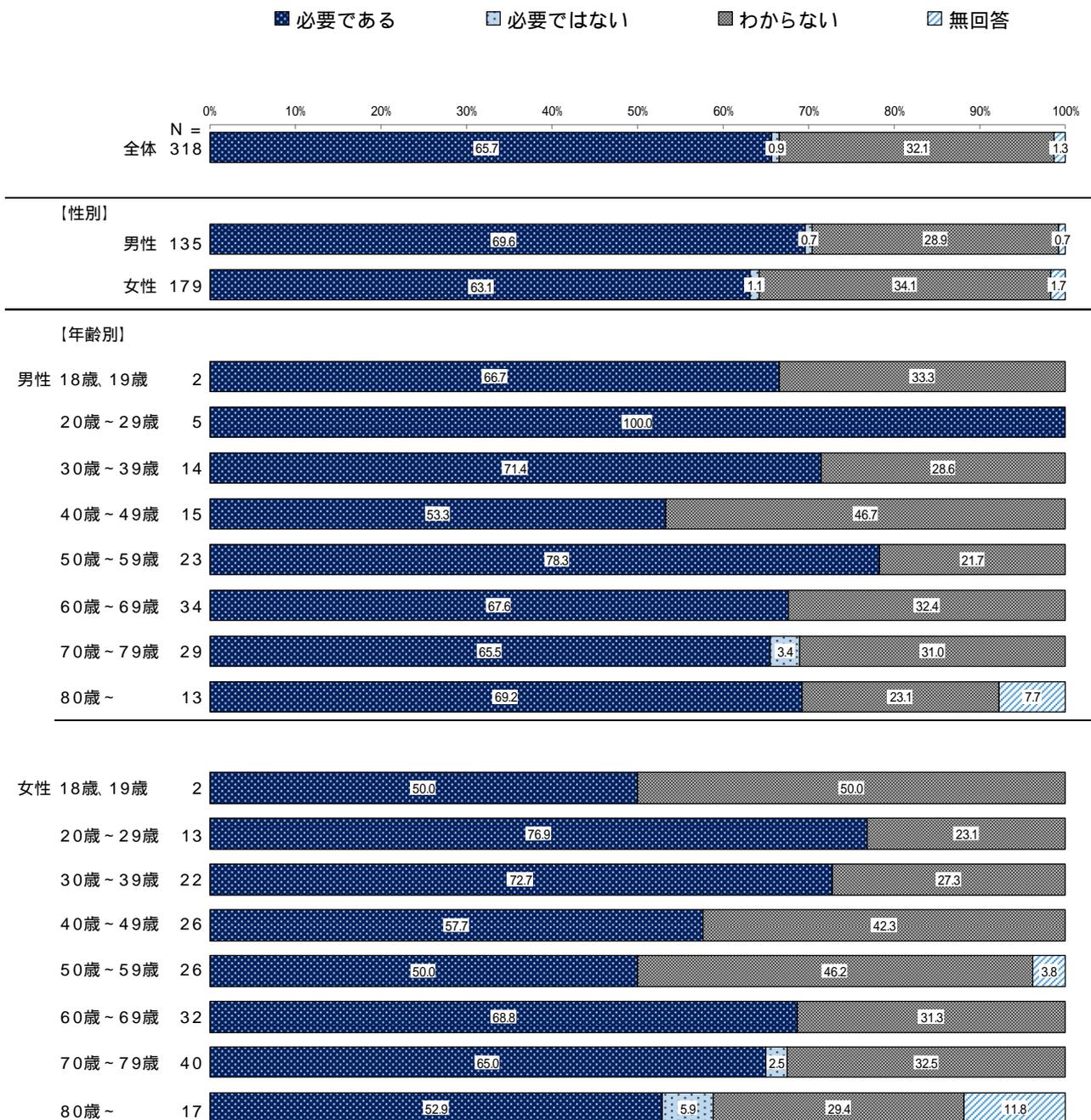
**問 11** 身に付けた知識や経験を地域社会に生かし、地域課題を解決する「地域人材」は、今後の地域社会に必要なだと思いますか (回答は1つ)

必要である  
65.7%

わからない  
32.1%

必要ではない  
0.9%

全体でみると、地域人材は「必要である」が最も高くなっており、どの年齢においても半数以上が地域人材は「必要である」と答えています。一方、「わからない」が32.1%となっており、地域人材は「必要ではない」は0.9%と非常に低くなっています。



## 地域づくり型生涯学習について ▶ 必要な地域人材の分野

問 12 次にあげる地域課題のうち、どのような分野での地域人材が必要だと思いますか。  
(回答は1つ)

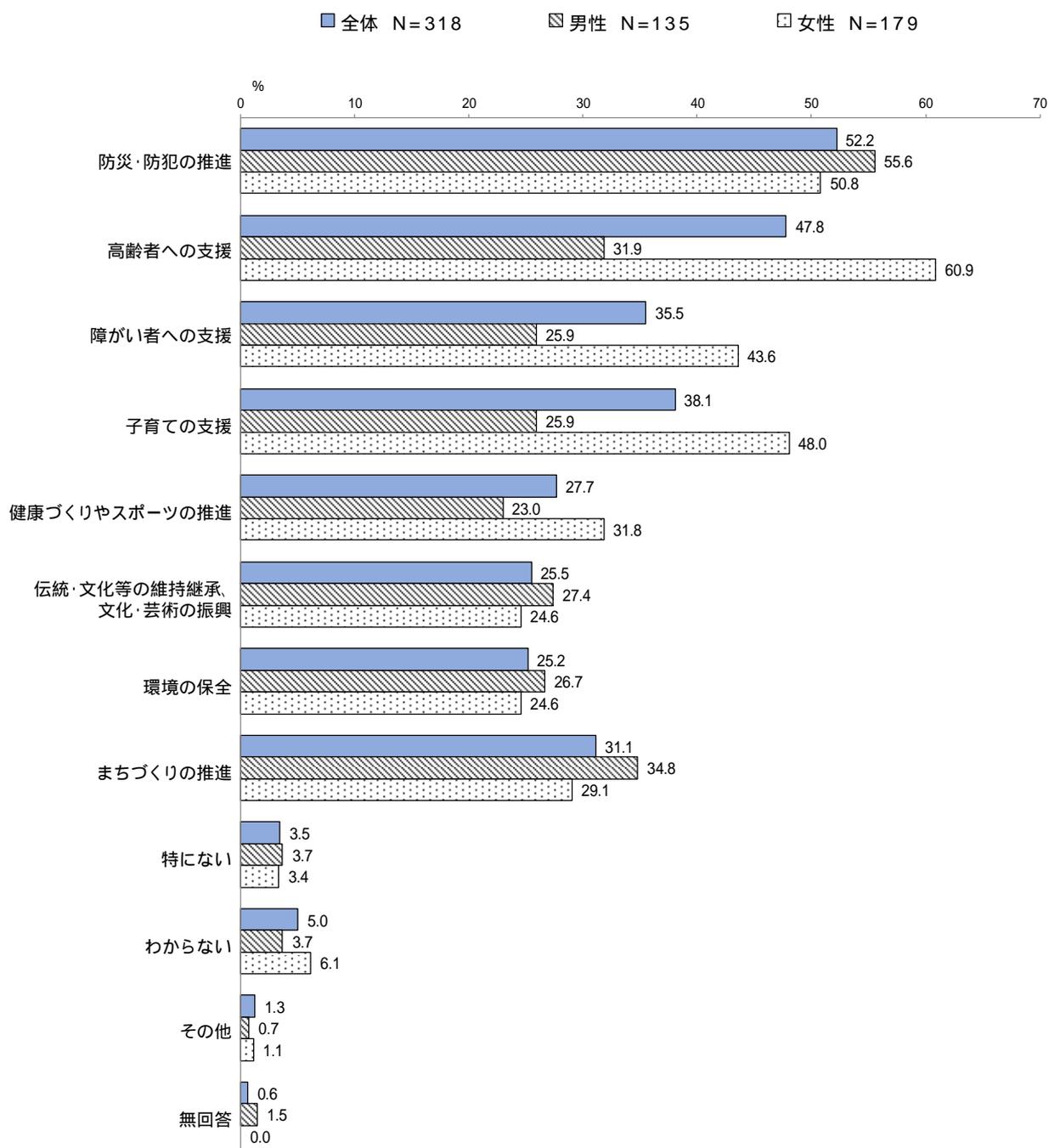
防災・防犯の推進  
52.2%

高齢者への支援  
47.8%

子育ての支援  
38.1%

障がい者への支援  
35.5%

全体でみると「防災・防犯の推進」が最も高くなっています。次いで「高齢者への支援」「子育ての支援」「障がい者への支援」といった支援に関する項目が高くなっています。一方、「まちづくりの推進」は31.1%、「健康づくりやスポーツの推進」、「伝統・文化等の維持継承、文化・芸術の振興」は20%代後半と高い傾向にあります。



【その他の回答】 農業、年齢を問わない看護・医療・福祉、認知症の方や障がい者への支援

# 地域づくり型生涯学習について

## ▶ 地域課題を解決する地域人材の有無

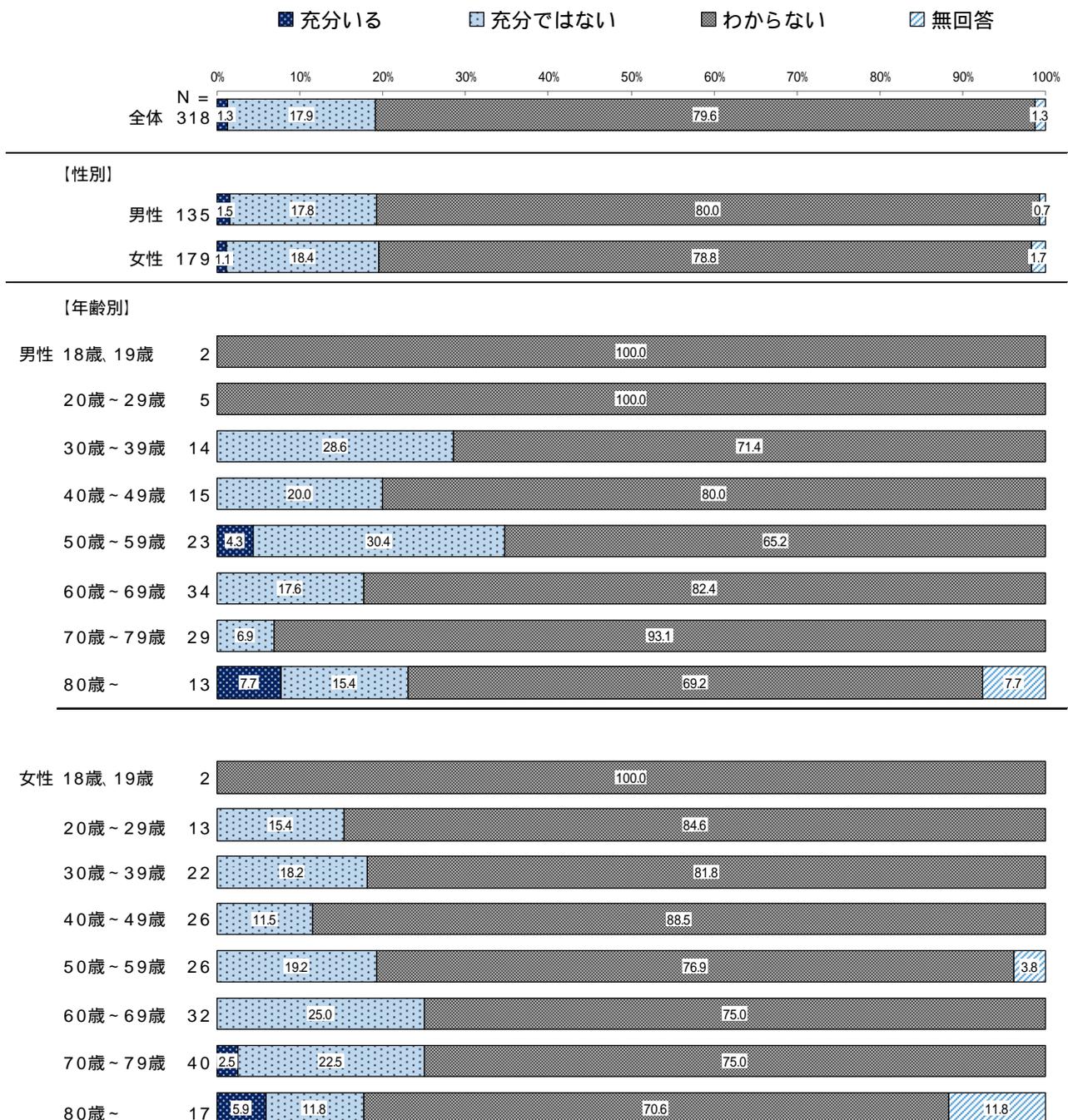
**問 13** あなたがお住いの地域に、地域課題を解決するような地域人材はいますか。  
(回答は1つ)

わからない  
79.6%

充分ではない  
17.9%

充分いる  
1.3%

全体でみると「わからない」が79.6%と極めて高くなっています。地域人材は「充分いる」と答えた割合は1.3%にとどまり非常に低くなっており、「充分ではない」と答えた割合も17.9%と低くなっています。性別でも、ほぼ同じ割合の回答となっています。

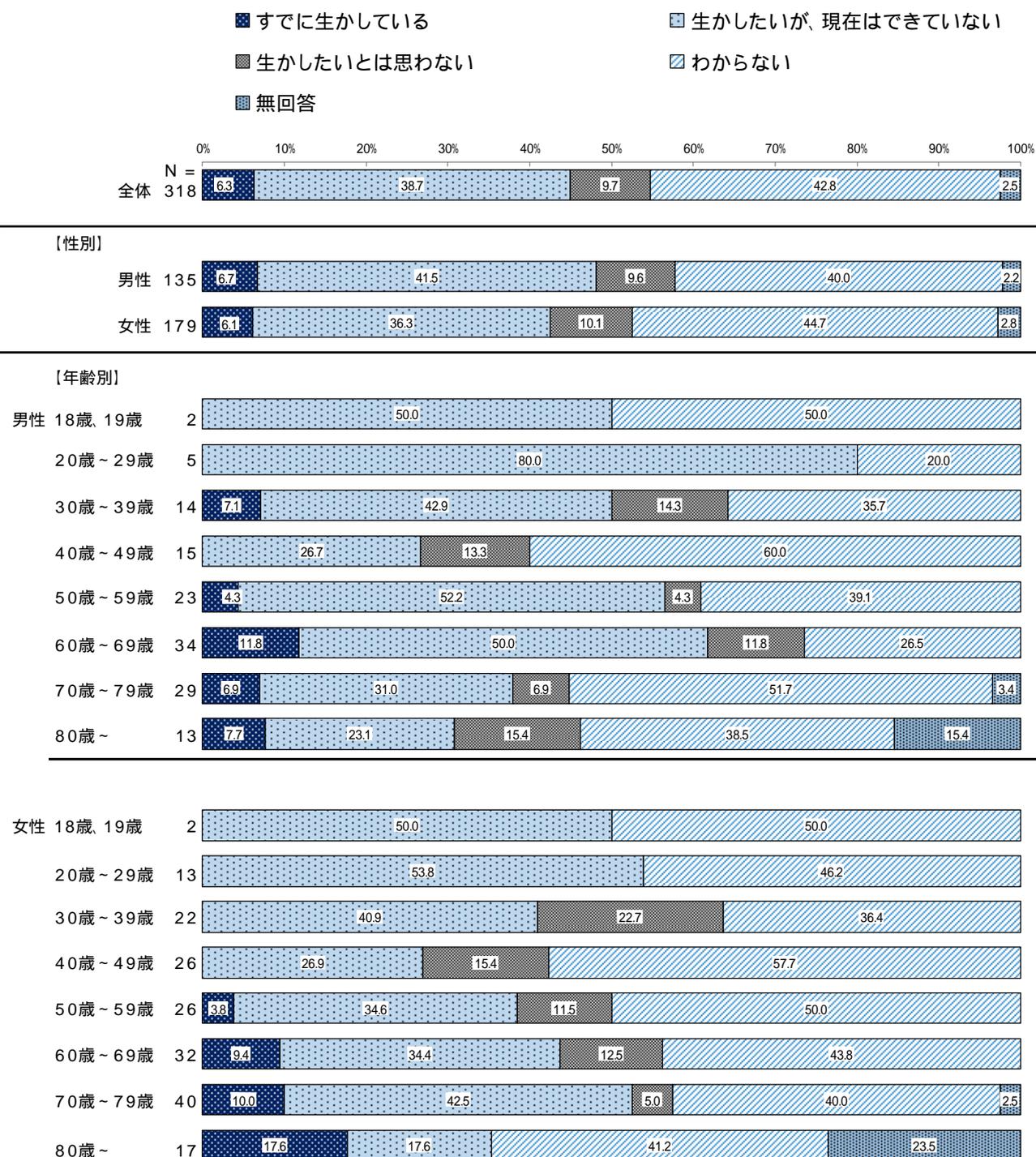


# 地域づくり型生涯学習について ▶ 生涯学習の成果を地域社会で生かす意欲

**問 14** あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識や経験を地域活動やボランティア活動など、地域社会で生かしていきたいと思いませんか。（回答は1つ）

わからない 42.8%      生かしたいが、現在はできていない 38.7%      生かしたいとは思わない 9.7%

全体でみると「わからない」が最も高く、次いで「生かしたいが、現在はできていない」が高くなっています。「生かしたいとは思わない」は全体、性別ともに回答の割合の10%前後を占め女性30代では22.7%となっています。「すでに生かしている」は30代男性と50代以上で回答がみられますが、低い割合となっています。

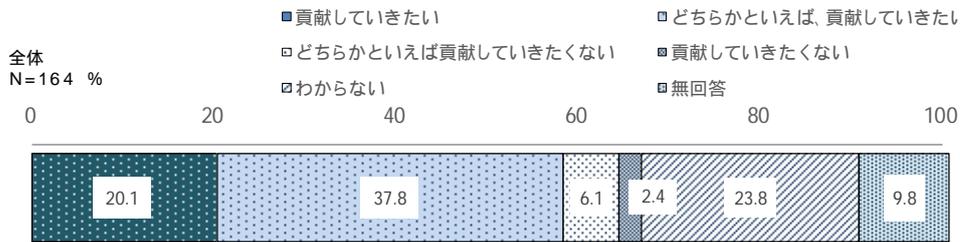


# 参考

## ▶ 生涯学習の成果を地域社会で生かす意欲

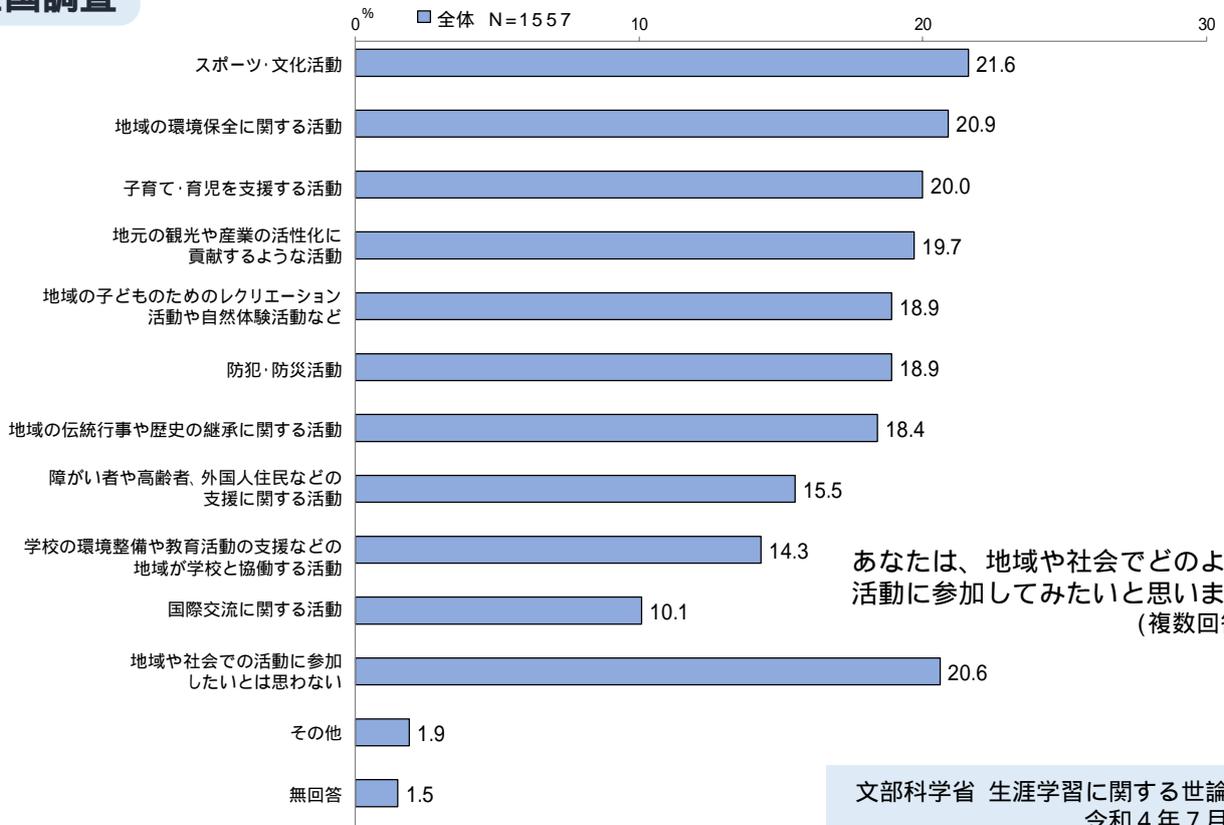
### 前回調査

「活動を通して身に付けた知識や経験を生かし、地域活動や学校教育活動でのボランティア活動に取り組むなど、社会に貢献していきたいと思いませんか。（回答は1つ）」



羽島市 生涯学習に関する市民意識調査 調査結果報告書  
令和元年7月実施

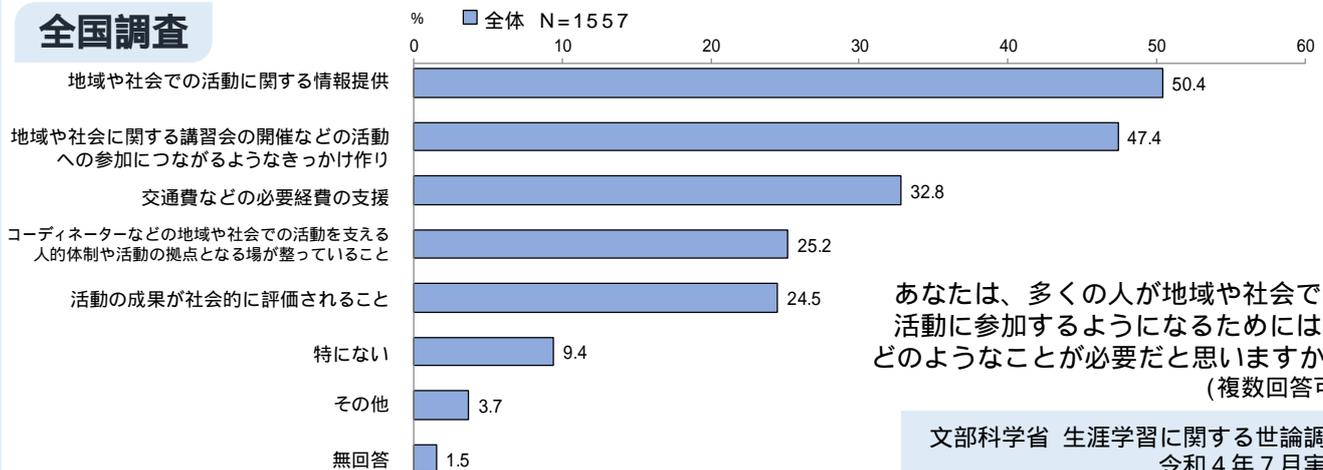
### 全国調査



あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いませんか（複数回答可）

文部科学省 生涯学習に関する世論調査  
令和4年7月実施

### 全国調査



あなたは、多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答可）

文部科学省 生涯学習に関する世論調査  
令和4年7月実施

# 地域づくり型生涯学習について ▶ 生涯学習の成果を地域社会生かす具体例

問14で「すでに生かしている」と回答

問15 どのような形で生かしていますか。(複数回答可)

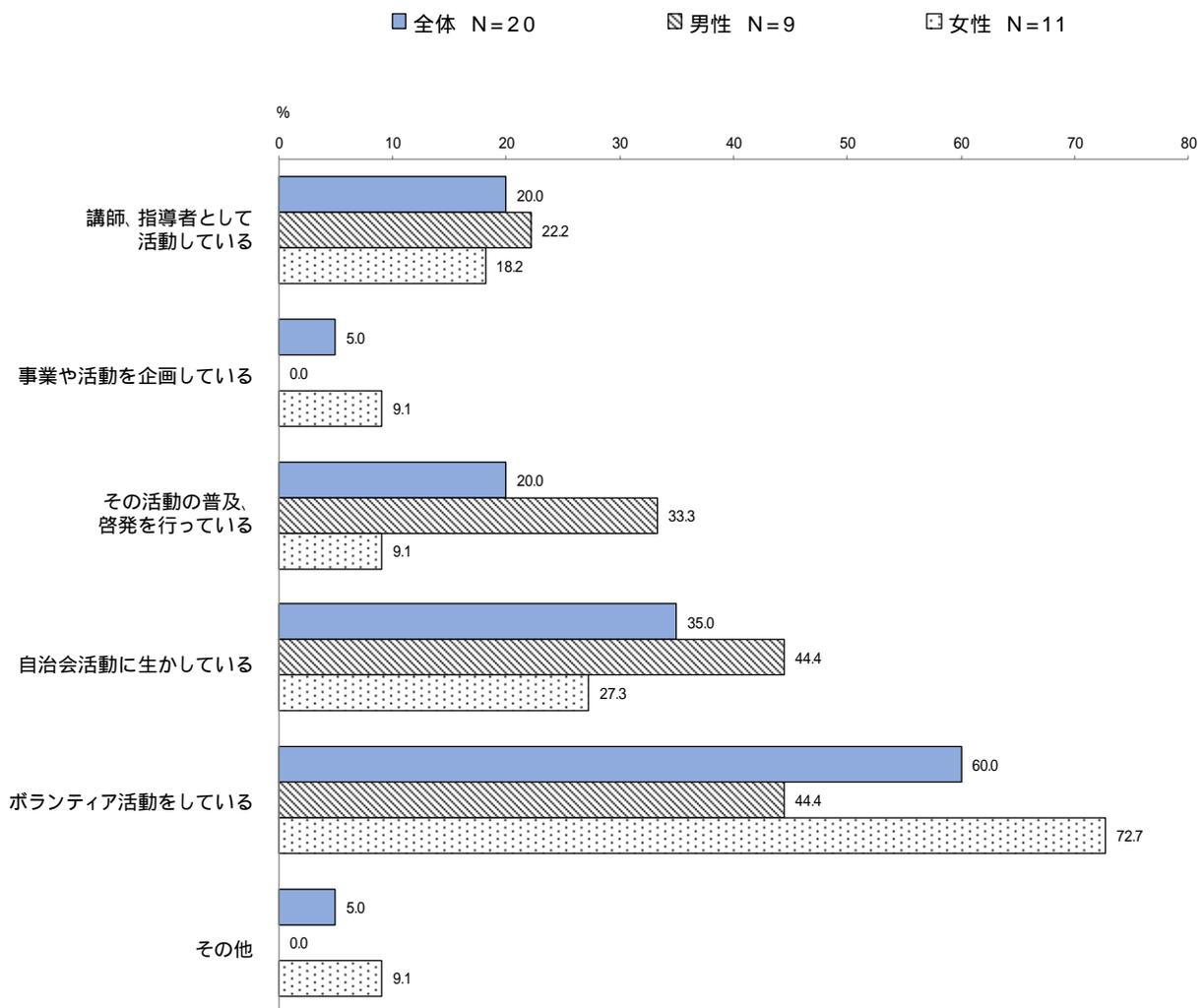
ボランティア活動をしている  
60.0%

自治会活動に生かしている  
35.0%

その活動の普及、啓発を行っている  
20.0%

講師、指導者として活動している  
20.0%

全体で見ると「ボランティア活動をしている」が最も高くなっており、次いで「自治会活動に生かしている」となっています。性別で見ると男性は「自治会活動に生かしている」と「ボランティア活動をしている」が44.4%と高く、次いで「その活動の普及、啓発を行っている」33.3%が高くなっています。女性は「ボランティア活動をしている」72.7%が極めて高くなっています。



【その他の回答】 習いたい人は自ら習いに来るので広めたいと思わない

# 地域づくり型生涯学習について

▶ 生涯学習の成果を地域社会で生かす際の課題や困難

問14で「1.すでに生かしている」「2.生かしたいが、現在できていない」と回答

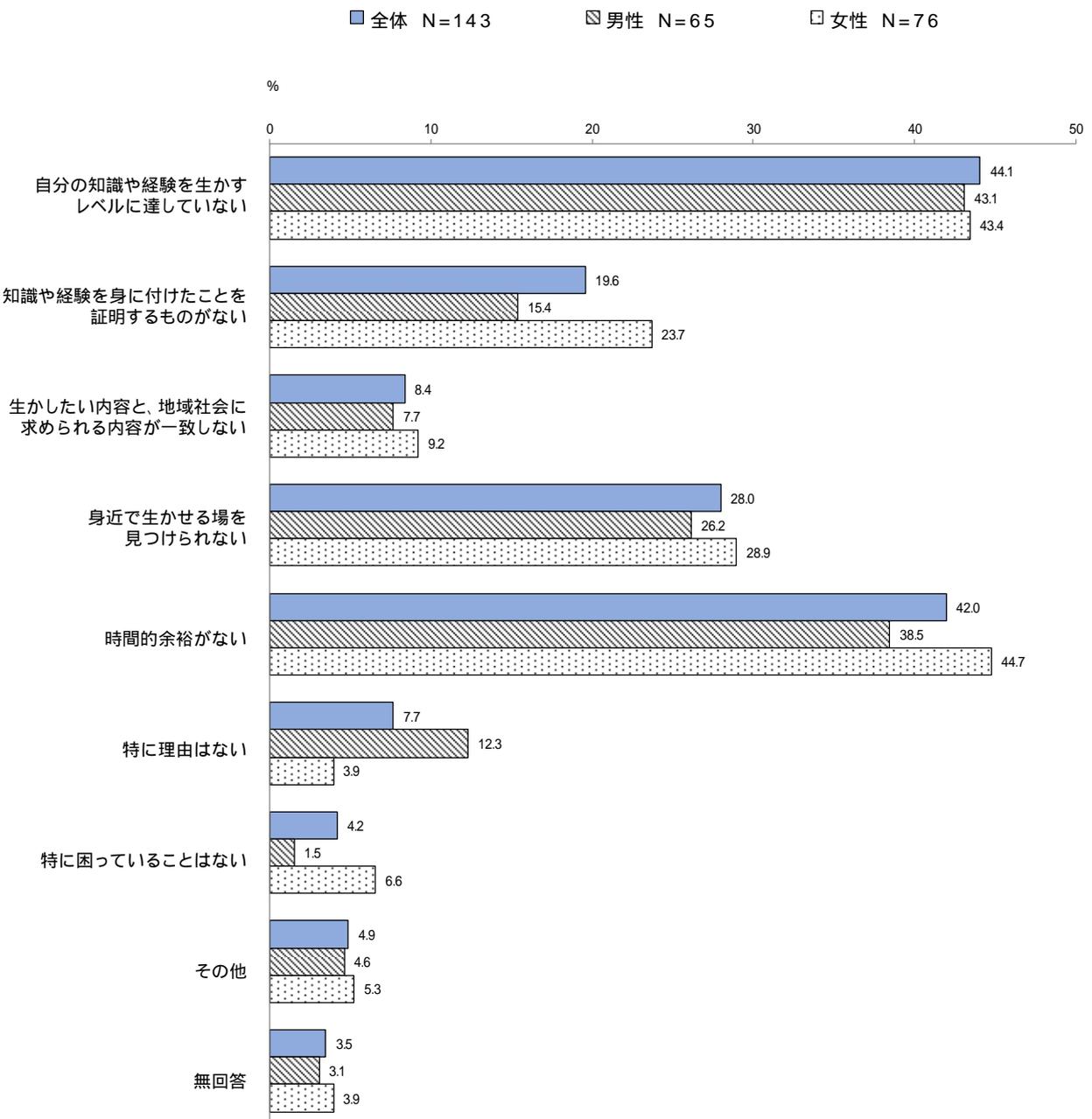
**問 16** あなたが、生涯学習を通じて身に付けた知識や経験を地域社会で生かすにあたってお困りの点や、生かしたいのにそれができない理由は何ですか。（複数回答可）

自分の知識や経験を生かす  
レベルに達していない  
44.1%

時間的余裕がない  
42.0%

身近で生かせる場を見つけられない  
28.0%

全体でみると「自分の知識や経験を生かすレベルに達していない」が最も高く、次いで「時間的余裕がない」となっています。性別でもどちらも40%前後と高い割合となっています。また「身近で生かせる場を見つけられない」も全体、性別ともに20%台後半となっており、高い割合となっています。



【その他の回答】 高齢や病気のため、スタッフ不足、マッチング機能がない、場所が遠い





# 自由意見

# 自由意見

自由意見欄へ記載いただいたご意見の中から、抜粋・要約して掲載したものです。

## 生涯学習の推進

内 容	年齢・性別
若い世代に対して生涯学習の説明を行ってほしい。	20代・女性
常に学び続けたいと思っている。子育て中のため子育てや生活について学んでいる。羽島市民が利用できる子どもの支援センターを増やしてほしい。	20代・女性
図書館の自習室を長い時間使えるようにしてほしい。充電環境やパソコンの使用、飲食しつつ話し合える場があると交流の場になると思う。	20代・女性
「生涯学習都市づくり5ヶ年計画」を市民は知らないと思う。PDCAサイクルはあるか。計画があっても施策が市民へ共有されなければ意味がない。	30代・男性
生涯学習とは何か分からない。「生涯学習」「生涯学習に関する羽島市の取り組み」をアンケート結果の公表時に公開していただけるとありがたい。	30代・女性
子育て中であり、子どもと一緒に学習したいと考えている。親子で学ぶ場があれば良いと思うが後回しになっている。イベントなど楽しく学べる場が理想。習い事(そろばん・習字など)を無料で学ぶ場があればありがたい。	30代・女性
平日、休日問わず子連れで参加できるものがあると良いと思う。	30代・女性
仕事などで他の地域で活動されていた人に羽島市のまちづくりについて考えなどを聞き、より良いまちを作れるようにしてほしい。	40代・男性
ビジネスに適して、様々な人材や若い人が活躍できる地域こそ生涯学習が生きてくる。そうでないといつまでも一部の人の生涯学習となり広まらない。	40代・男性
昨今の食糧問題から農業の今後に興味がある。高齢化で耕作放棄地が更に増え地域環境も変化していくなか、土地の市民農園や市民野菜作り教室などへの活用で、アパート住まいなど土にふれる機会のない方への学びの場などがあればよい。	40代・女性
図書館内がせまく通路の幅も余裕がないので窮屈で居心地が悪く感じる。本のラインナップには満足しているので、館内レイアウトを良くしてほしい。	40代・女性
何のために学ぶのか、目的からゴールまで一貫していると取り組む意欲につながるのではないかと。「資格」は目に見えるもので自立にもつながるので、取得に向けた学習環境があるとありがたい。	40代・未回答
高齢者層のIT関係の知識を高めていくことが必要である。	50代・男性
生涯学習は高齢者のイメージがあり若い世代は参加しにくい。青年～中年世代が参加しやすい講座の開設とともにイメージ戦略が必要。	50代・男性
育児を終えてから自分の為に時間を使い学びたいと思う講座があまりない。年代別に興味のあるような講座があると受講したいと思うようになる。	50代・女性
生涯学習はあまり興味がなく情報収集しておらず、深く考えてこなかった。様々な講座(録画やライブ)をインターネットで受講する環境があれば参加しやすくなる。他自治体の実績も参考にして、目を引くような広報活動やPR活動、イベント開催などで市民の認知度を上げ、興味を引く施策も必要。	60代・男性

# 自由意見

## 生涯学習の推進（続き）

内 容	年齢・性別
地域の現状や自分の生活状況により学習に対し積極的に取り組むことのできない方もおられるので、多様な対応にて学習の計画を作ってほしい。	60代・男性
図書館でインターネット環境を整えてほしい。	60代・男性
ボランティアを紹介ができる場があれば、もっと多くの人それぞれのスキルを生かしたボランティアやサークルに参加できると思う。	60代・女性
近所にひとり暮らしの高齢者が多く閉じこもりがちの方もある。高齢に限らず体を動かしたい方は多い。講座に参加するにも交通面や費用の負担、時間がないなど難しい場合も多い。フレイル予防のためにも、自宅で簡単にできる体操などのチラシ配布やネット配信など、何かできないものか。	60代・女性
学習することに充実感があり生きがいになる。送迎付き講座があれば参加者が増えると思う。	70代・女性

## 地域づくり型生涯学習

内 容	年齢・性別
地域づくり型生涯学習という言葉を知ったが、よい取り組みだと思うので、推進していただきたい。	40代・男性
生涯学習は個人的なものであると思っていたため「地域づくり型」を推進することで誰かの役に立たなければ意味がないのかと一気に色あせて見える。地域活動やボランティアなど無償を求めず正式に講師として依頼するなど対価を払う前提で進めてほしい。	40代・女性
生涯学習を行いながら地域社会のコミュニケーションを取っていく事が、今後必要なことで、人のつながりが第1の目標だと感じる。	60代・男性
平均寿命が長くなり退職後も社会貢献できる人材は多い。市の人材バンクなどを作り活躍の場を紹介すると良い。学ぶ教える、双方の生きがいにつながる。	60代・女性
生涯学習の有意性は理解できる。専門知識を持つ方へのプライバシー配慮を行った上で自治体のマンバンク登録を行うことができれば、指導員やボランティアを広く確保できるのではないかと。	70代・男性
人材が足りない。若い方は仕事で忙しく、指導者はみな高齢である。	70代・女性
講師・指導者・学識経験者といっても素養に難がある方もいる。指導者のレベルもよく見て取り組んでほしい。	70代・女性
講座を受講し修了証を得ても、生かせる組織作りがなされていないため、活用できていない人が多い。生涯学習は生涯学習ととらえている。仲間を作りながら楽しく学びたい。高齢者の居場所が見つけられると良い。	70代・女性

# 自由意見

## 生涯学習全般

内 容	年齢・性別
あつたらいいなと思うが、時間もお金も気持ちも余裕はない。高齢者の孤立防止には役に立つと思う。	30代・女性
学び直しをしてみたいと思うが、なかなか行動に移せていない。時間を有効に使い、生活に張りが出る学習をしてみたいと思っている。	40代・女性
生涯学習と聞いて、どういった学習をするのか理解できていない。まずは知ることからだと思った。	50代・男性
自分の興味に合う講座等があり時間が合えばすぐにでも参加したい。	50代・男性
地域になじみたいが、勇気や一步を踏み出せない。また、身近に話せる人がいないので参加しても浮いてしまいそう。	50代・男性
健康で自分が楽しいと思える生活が出来ていれば、いいのではないかと思う。	50代・女性
60代を過ぎ、その後どう生きるか？これこそが生涯学習かと感じる。	60代・男性
両親の介護と仕事に追われて学習する時間が取れない。介護施設の受け入れが充実していれば多少余裕ができると思う。	60代・男性
生活に余裕がなく自分の事でいっぱい地域のは二の次である。	60代・男性
市町村では様々な取り組みが行われていると思うが、必要とする人に伝わっているか把握することはなかなか難しい。地域へアンテナを張り、情報収集に取り込んでいきたいと思っている。	60代・女性
学習は自分で考え自分で生活の中に見つけるものであり、市や他の人から用意してもらうものではない。自分の日常生活の中でコミュニケーションをとって学び積み重ねるもので、毎日生きている中から学んでいくものである。	70代・男性
70歳になるまでの約10年間は生涯学習として体操教室に通ったが、もう体力的に意欲が出ない。しかし、その時に習った体操は生かされて現在の健康があるのだと、学習の大切さは身をもって感じている。	70代・女性
情報がないのでわからない。受身でなく自分で進んでいく必要性を感じる。	80代・男性
高齢になり運動する場所などがわからない。時々広報紙で情報を得ている。	80代・女性

# 生涯学習に関する市民アンケート調査



市民の皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本市では、令和2年に策定した「羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画」に基づき、生涯学習に関する各施策を推進しています。

今回の調査は、この計画の発展・充実に図っていくにあたり、市民の皆さまのお考えをお聞かせいただくため、令和7年2月1日現在で羽島市にお住まいの満18歳以上の男女あわせて1,000人の方を無作為に選び、実施するものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年2月 羽島市長 松井 聡

あなたの意見が  
市政に  
生かされます!!

アンケート集計結果については、市ホームページや広報紙にて公表するとともに、計画推進のために活用させていただきます。回答時間は10分程度です。ご協力を重ねてお願いいたします。

## 【調査票にご記入いただくうえでのご注意】

- ご回答は、封筒の宛名ご本人のお考えでご記入ください。  
ご本人による回答が困難な方は、ご家族などの協力によりご回答ください。
- ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆をお使いください。
- 質問文に従って、**あてはまる番号を選んで○をつけてください。**  
また、回答が「その他」にあてはまる場合は、番号に○をつけ、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて期限までに郵便ポストにご投函ください。  
**※切手は不要です。**

**回答期限：3月10日（月）**

※ このアンケートにお名前を記入する必要はありません。

調査の結果はすべて統計的に処理し、調査内容については、この統計以外の目的に使用することはありません。

**この調査票はWEB上でも回答可能です。**

二次元バーコードまたはURLから専用ページにアクセスし、以下の認証IDと認証キーを入力してください。WEB回答の場合、**調査票の返信は不要です。**

※WEB回答に伴う通信料は回答者のご負担となります。



[URL]<https://logoform.jp/form/z9ND/868114>

認証ID	6桁の半角英数字
認証キー	6桁の半角数字

お問い合わせ先

羽島市

市民協働部生涯学習課

電話：058-392-1111（内線6133）

メール：gakushu@city.hashima.lg.jp

## はじめに

調査を統計的に分析するために、あなた自身のことについておたずねします。  
あてはまるものに○をつけてください。

問1 あなたの性別は、次のどれに当たりますか。(○は1つ)

- |       |       |              |
|-------|-------|--------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他・回答しない |
|-------|-------|--------------|

問2 あなたの年齢は、次のどれに当たりますか。(○は1つ)

(令和7年2月1日現在の満年齢)

- |         |         |         |          |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代  |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳以上 |

## あなたの生涯学習について

問3 あなたは「生涯学習」という言葉からどんなことを思い浮かべますか。(○はいくつでも)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと |
| 2. 生活を楽しみ、心を豊かにすること      |
| 3. 趣味や教養を高めること           |
| 4. 生きがいをつくること            |
| 5. 健康の増進や体力づくりをすること      |
| 6. 仕事に必要な知識や技能を身につけること   |
| 7. 地域や社会のために貢献すること       |
| 8. 講座等の学習活動へ参加すること       |
| 9. 学校で学習すること             |
| 10. わからない                |
| 11. その他(具体的に: _____ )    |

問4 あなたは生涯学習の情報をどこから得ていますか。(○はいくつでも)

- |                             |                       |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 市広報紙                     | 2. 市生涯学習情報誌「学びEyeはしま」 |
| 3. 自治会からの回覧や連絡              | 4. 新聞、雑誌、書籍           |
| 5. テレビ、ラジオ                  | 6. ホームページ             |
| 7. FacebookやInstagramなどのSNS | 8. 知人、友人、同僚、家族        |
| 9. 特にない                     |                       |
| 10. その他(具体的に: _____ )       |                       |

問5 現在どのような情報が最も欲しいですか。(○は1つ)

1. 講座、イベントなどの案内
2. サークル、ボランティア活動などの情報
3. 資格に関する情報
4. 図書館等の施設の情報
5. 講師、指導者の人材情報
6. 特にない
7. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問6 あなたはこの1年間くらいの間には生涯学習を行いましたか。(○は1つ)

1. 行った → 問7-1に進んでください。
2. 行っていない → 問8-1に進んでください。

【問6で「1. 行った」を選択した方に伺います。】

問7-1 あなたはこの1年間くらいの間にはどのような生涯学習を行いましたか。(○はいくつでも)

1. 趣味に関する事
2. 教養に関する事
3. 健康増進、スポーツに関する事
4. 家庭生活に役立つ知識、技術に関する事
5. 職業上必要な知識、技能や資格に関する事
6. 子育て、教育に関する事
7. 情報処理やインターネットの知識、技能に関する事
8. ボランティアに関する事
9. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

【問6で「1. 行った」を選択した方に伺います。】

問7-2 問7-1の学習を行った理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 趣味、教養を深めるため
2. 健康維持、増進のため
3. 友人や仲間を得るため
4. 仕事、就職、転職に役立てるため
5. 地域や社会に役立てるため
6. 家庭、日常生活の中で役立てるため
7. 特に理由はない
8. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

【問6で「1. 行った」を選択した方に伺います。】

問7-3 問7-1の学習はどのような場で行いましたか。(〇はいくつでも)

1. 公的機関(市主催等)の講座、教室
2. 高校、大学(院)、短大、専門学校などの正規課程
3. 大学(院)、短大、専門学校などの公開講座
4. 民間の講座、教室
5. 職場の研修、講座
6. 友人・知人などの同好者が自主的に行うサークル、グループ活動
7. その他(具体的に: )

【問6で「1. 行った」を選択した方に伺います。】

問7-4 問7-1の学習はどのような形態で行いましたか。(〇はいくつでも)

1. 会場での対面
2. 新聞、雑誌、書籍を活用
3. テレビ、ラジオを活用
4. インターネットを活用
5. 通信教育
6. その他(具体的に: )

【問6で「1. 行った」を選択した方に伺います。】

問7-5 問7-1の学習を通じてどのような良さを味わうことができましたか。(〇はいくつでも)

1. 趣味・教養等を深め、自身のスキルアップにつながった
2. 体力づくり、健康づくりにつながった
3. 学習で得た知識等を、他の人に伝えることで、人のためになっていると実感できた
4. 学習を通じて地域(住民、団体等)との交流を深めることができた
5. 学習で得た知識等を、地域づくりなどの社会貢献活動に役立てることができた
6. 学習を通じて、仲間や友人ができた
7. 特になかった
8. その他(具体的に: )

問9へ進んでください。

【問6で「2. 行っていない」を選択した方に伺います。】

問8-1 あなたが生涯学習を行っていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 時間に余裕がない
2. 費用がかかる
3. 家族の理解が得られない
4. 一緒に学習する仲間がいない
5. 学習をする場所がない
6. どのような学習をするのがよいのかわからない
7. 情報を得る機会がない
8. 自分の関心や必要にあった学習の機会が見つからない
9. 自分のレベルにあった学習の機会が見つからない
10. そもそも生涯学習に関心がない、取り組む必要性を感じない
11. 特に理由はない
12. その他(具体的に: )

【問6で「2. 行っていない」を選択した方に伺います。】

問8-2 できれば学習したい・学習してもよいと思う内容はどんなものですか。(○はいくつでも)

1. 趣味に関すること
2. 教養に関すること
3. 健康増進、スポーツに関すること
4. 家庭生活に役立つ知識、技術に関すること
5. 職業上必要な知識、技術に関すること
6. 子育て、教育に関すること
7. 情報処理やインターネットの知識、技能に関すること
8. ボランティアに関すること
9. 特にない
10. その他(具体的に: )

問9 生涯学習をする場合、学習がしやすい時間帯はいつですか。(○はいくつでも)

1. 平日の午前
2. 平日の午後
3. 平日の夜間(午後6時以降)
4. 土曜日の午前
5. 土曜日の午後
6. 土曜日の夜間(午後6時以降)
7. 日曜・祝日の午前
8. 日曜・祝日の午後
9. 日曜・祝日の夜間(午後6時以降)
10. 活動したいが時間がとれない
11. その他(具体的に: )

## 地域づくり型生涯学習について

問10 市では、身に付けた知識や経験を地域社会に生かし、地域課題を解決する「地域づくり型生涯学習」を推進しています。あなたは、「地域づくり型生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。(○は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問11 身に付けた知識や経験を生かし、地域課題を解決する「地域人材」は、今後の地域社会に必要だと思いますか。(○は1つ)

- |          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 1. 必要である | 2. 必要ではない | 3. わからない |
|----------|-----------|----------|

問12 次にあげる地域課題のうち、どのような分野での地域人材が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 防災・防犯の推進             |
| 2. 高齢者への支援              |
| 3. 障がい者への支援             |
| 4. 子育ての支援               |
| 5. 健康づくりやスポーツの推進        |
| 6. 伝統・文化等の維持継承、文化・芸術の振興 |
| 7. 環境の保全                |
| 8. まちづくりの推進             |
| 9. 特にない                 |
| 10. わからない               |
| 11. その他(具体的に: _____ )   |

問13 あなたがお住まいの地域に、地域課題を解決するような地域人材はいますか。(○は1つ)

- |         |           |          |
|---------|-----------|----------|
| 1. 充分いる | 2. 充分ではない | 3. わからない |
|---------|-----------|----------|

問14 あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識や経験を地域活動やボランティア活動など、地域社会で生かしていきたいと思いますか。(○は1つ)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. すでに生かしている → 問15、問16に進んでください。    |
| 2. 生かしたいが、現在はできていない → 問16に進んでください。 |
| 3. 生かしたいとは思わない → 《自由意見》に進んでください。   |
| 4. わからない → 《自由意見》に進んでください。         |

【問14で「1.すでに生かしている」を選択した方に伺います。】

問15 どのような形で生かしていますか。(〇はいくつでも)

1. 講師、指導者として活動している
2. 事業や活動を企画している
3. その活動の普及、啓発を行っている
4. 自治会活動に生かしている
5. ボランティア活動をしている
6. その他(具体的に: )

【問14で「1.すでに生かしている」または「2.生かしたいが、現在はできていない」を選択した方に伺います。】

問16 あなたが、生涯学習を通じて身に付けた知識や経験を地域社会で生かすにあたってお困りの点や、生かしたいのにそれができていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 自分の知識や経験を生かすレベルに達していない
2. 知識や経験を身に付けたことを証明するものがない
3. 生かしたい内容と、地域社会に求められる内容が一致しない
4. 身近で生かせる場を見つけられない
5. 時間的余裕がない
6. 特に理由はない
7. 特に困っていることはない
8. その他(具体的に: )

《自由意見》

◎これまでの設問に関することを含めて、生涯学習に関するご意見がありましたら、  
ご自由にお書きください。

記入欄が足りない場合は、お手持ちの用紙（任意様式）にご記入のうえ、添付してください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。



紙による回答の場合 同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに  
**3月10日（月）まで**にご投函ください。

WEBによる回答の場合 表紙に記載の二次元バーコード等から専用ページにアクセスし、  
**3月10日（月）まで**にご回答ください。



生涯学習に関する市民アンケート  
結果報告書

令和7年(2025)6月  
羽島市・市民協働部生涯学習課